

# TEAC

DVD-RAM カラー動画レコーダ

# DV-700

はじめに

録画する

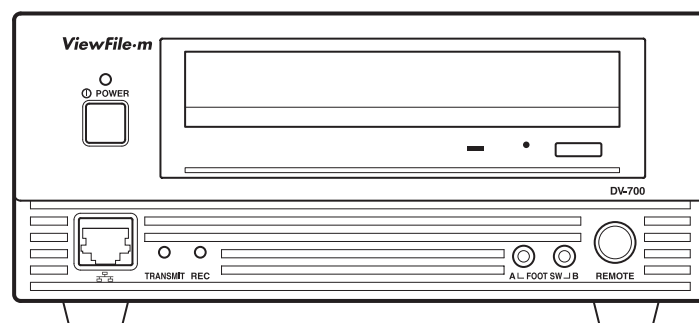
再生する

設定変更

ご参考


## 取扱説明書


ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。  
お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。




# 本体に表示している記号について


## 前面

 電源を入/切するためのスイッチです。

 ネットワークに接続するためのコネクタです。

## 背面

 本体に電源を供給するためのコネクタです。付属の電源コードを接続してください。

 等電位化端子です。DIN 42801に従ったコネクタをもつ等電位化ケーブルを接続してください。

# 安全にお使いいただくために

**警告** これらを見逃して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。

## 異常が起きたら

万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して当社サービス部門に修理をご依頼ください。

## 水にぬらさない

この機器を水にぬらさないでください。また、花びんや水などの入った容器をこの機器の上に置かないでください。内部に水が入ったまま使用すると、火災・感電の原因となります。内部に水が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、当社サービス部門にご連絡ください。

## 内部に異物を入れない

この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。中に入った場合、火災・感電の原因となります。

## 電源プラグのほこりなどは定期的にとる

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

## 電源コードを傷つけない

電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。火災・感電の原因となります。

## 交流100ボルト以外の電源で使わない

交流100V以外の電源で使わないでください。火災・感電の原因となります。

## カバーを開けない

この機器のカバーは絶対に外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・修理は当社サービス部門にご依頼ください。

## 改造しない

この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

# 安全にお使いいただくために

**注意** これらを無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性、および物的損害の発生が想定されます。

## 適さない設置場所

次のような場所に置かないでください。火災、感電やけがの原因となることがあります。

- ・ 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
- ・ 湿気やほこりの多い場所
- ・ ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所
- ・ 直射日光があたる場所
- ・ 振動が激しい場所

## 接続前の注意

他の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明書にしたがって接続してください。また、接続には所定のコードを使用してください。

## 通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

## 上に物を置かない

この機器の上に物を置かないでください。倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。また、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

## 指をはさまれないように注意

ディスクトレイが閉まる時に手指をはさまれないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。

## 内部をのぞき込まない

ディスクドライブのシャッタのすきまから内部をのぞき込まないでください。内部のレーザ光源を直視すると、視力障害を起こすおそれがあります。

## ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれた手で電源プラグにさわると、感電の原因となることがあります。

## 電源コードを持って抜かない

コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。電源コードを抜くときは電源プラグを持って抜いてください。

## 移動させるときは

電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから移動してください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

## お手入れのさいは

安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

## 長期間ご使用にならないときは

長期間この機器をご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

## 1年に1度ぐらいは点検をご相談ください

内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。

## 付属ソフト “ DvFinder ” について

本製品には録画したDVD-RAMをPCのDVD-RAMドライブで検索するためのWindowsアプリケーション “ DvFinder ” が付属しています。通常アプリケーションはハードディスクにインストールして使いますが、このソフトはそれとは異なり、本製品でDVD-RAMをフォーマットすると自動的にDVD-RAMごと書き込まれるようになっています。

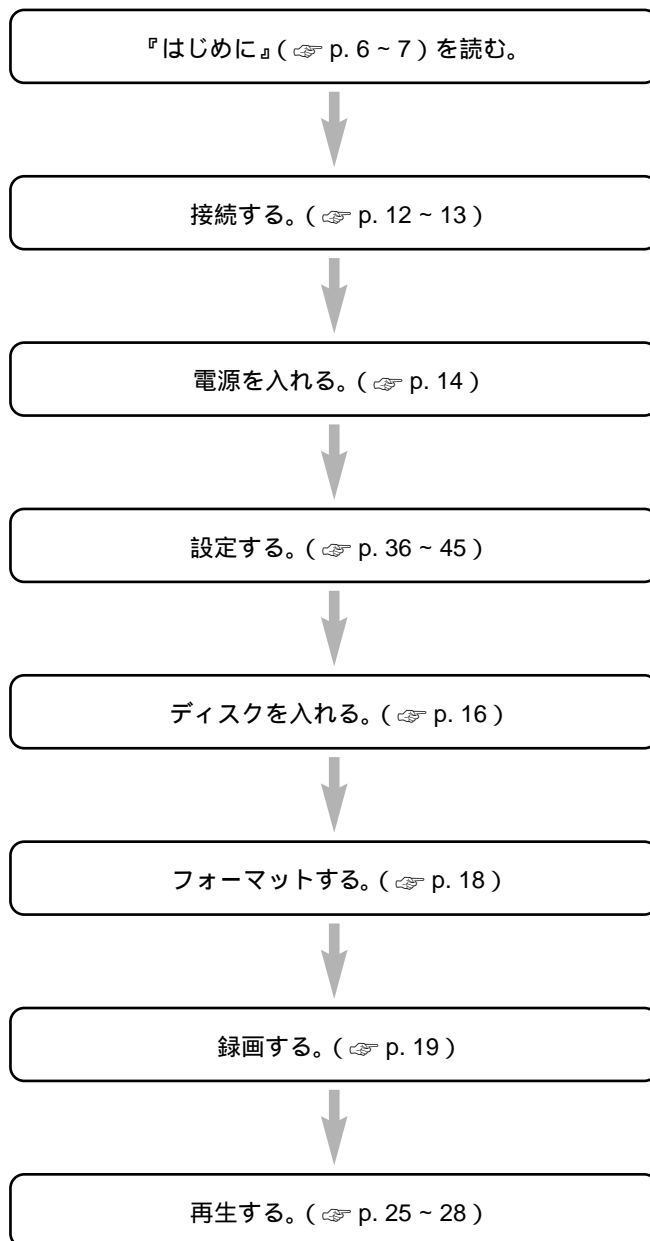
このソフトウェアは、お客様が以下のソフトウェア使用契約の条件に同意されることを前提として、ティアック株式会社（以下、弊社といいます）よりご使用を許諾するものです。万一、同意いただけない場合は、製品一式を購入店へご返却ください。購入代金を返金させていただきます。お客様が以下のソフトウェア使用契約の条件に違反されますと、弊社の権利を侵害することになり、以降のご使用の停止、また、損害賠償等の請求対象となりますことをご承知おください。

## ソフトウェア使用契約

1. 本契約は、お客様が本製品でDVD-RAMを初めてフォーマットしたときから発効します。同意いただけない場合は、フォーマットしないでください。
2. お客様が本ソフトウェアを取得されたことは、本ソフトウェア契約に規定された以外に本ソフトウェアのいかなる権利、権原若しくは利権の取得を意味するものではありません。お客様は、本ソフトウェアが弊社に帰属する著作物として、「万国著作権条約」または「文学的および美術的著作物保護に関するベルヌ条約」の加盟国の著作権法に基づき保護されることをご認識ください。本ソフトウェアの著作権は、弊社に帰属しております。
3. (1) お客様は、本ソフトウェアをバックアップ以外の用途で複製することはできません。  
(2) お客様は、本ソフトウェアを解析したり、コンパイラ言語やアセンブラ言語に変換することはできません。  
(3) お客様は、本ソフトウェアを弊社の事前承諾なく、第三者に譲渡することはできません。
4. 弊社は、本ソフトウェアが所定の環境下において、弊社が明示した動作をすることは確認しておりますが、本ソフトウェアが、お客様の特定の使用目的に適合するかどうか、また、本ソフトウェアの動作が中断しないことや誤りのないことを保証するものではありません。
5. 弊社は、本ソフトウェアの使用や使用不能から生じたいかなる損害（事業上の損失、営業の中断、営業上の情報の損失、その他の金銭上の損害など）についても責任を負いません。たとえその損害の可能性が弊社に事前に知らされていたとしても同様です。

上記契約に関してご不明な点などがございましたら弊社にお問い合わせください。

## 設置から再生まで



### 注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

# もくじ

## はじめに

特長	6
使用上の注意	6
DVD-RAMについて	7
録画動作について	7
画像ファイルについて	8
各部のなまえ	9
接続する	12

## 録画する

録画の前に	14
おおまかな操作フロー	15
ディスクを入れる	16
画面の表示について	17
フォーマットする	18
録画する	19
文字の入力のしかた	20
録画のとき便利です	21
IDを事前に登録する	21
ワンショット録画秒数を変更する	22
録画にかかわる設定を変更する	22
検査中の患者の過去の画像を見る	23
シリーズ番号をインクリメントする	23

本書に記載の各会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。

## 再生する

検索のフロー	24
IDで検索する	25
日付で検索する	27
最新の画像を検索する	28
再生動作について	29
いろいろな再生	30
再生のとき便利です	31
再生時にマークをつける / 消す	31
任意の2点間をリピートする	31
画像ファイルを転送する	32
再生中のIDで検査する	32
患者情報を修正する	33
再生動作の設定を変更する	33
PCで再生する	34

## 設定を変更する

設定のしかた	36
画質・録画時間の設定	37
入力信号にかかわる設定	37
再生動作の設定	39
フォーマットの操作	40
画像転送の設定	41
磁気カード / バーコードリーダーの設定	43
その他の設定	44

## ご参考

お手入れ	46
こんなときには	46
エラーメッセージが出たら	47
仕様	48
保証とアフターサービス	50

# 特長

本機は医用画像等をDVD-RAMに保存し再生することを目的とした装置です。動画または静止画をMPEG-2ファイルとして保存することができます。(本書では、本機で使用するDVD-RAMを、誤解のおそれがないかぎり「ディスク」と略します。)

## 4段階の画質

画質はEP(約5時間録画)、LP(約3時間)、SP(約2時間)、HQ(約1時間)の4種類から選択できます。

## 長時間の録画

画質EPの場合で約5時間録画できます。最高画質のHQでも約1時間の録画が可能です。(4.7GB DVD-RAMの場合、9.4GBでは片面で)

## 画像にマーク

録画中の画像に目印となるマークをつけられます。再生時にそのマークを検索したり、マーク間をくり返して再生することができます。

## 患者情報を記録

画像データに加えてつぎのような情報も記録します。再生するときに、検査日、患者IDを検索条件にして検索することができます。

- ・検査日時
- ・患者のID、名前、生年月日、性別

## 音声も録音

画像の記録と同時に2チャンネルの音声を録音することができます。

## パソコンで再生

本機で録画したDVD-RAMをパソコンのDVD-RAMドライブに入れて再生することができます。DVD-RAMにはフォーマット時に検索ソフト“DvFinder”が書き込まれますので、それを使うことにより、画像を検索できます。(再生するには付属のユーリードシステムズ社「VideoStudio」をパソコンにインストールする必要があります。)

## ネットワークで画像ファイルを転送

本機をネットワークに接続して画像ファイルを転送することができます。転送した画像をPCで受信するためのソフト“VIEWFILE Lite”が付属しています。

# 使用上の注意

## 使用環境

確実な動作のために下記の環境のもとでご使用ください。

- ・温度：5～35
- ・湿度：30～80%RH(非結露。35 の場合は最大65%)

## 水平に、振動を避けて

本製品はゴム足を下にして水平に設置してください。

## 他の機器を上に乗かない

本製品の上に他の機器を置かないでください。内部に熱がこもり、故障の原因となります。

## 通風孔をふさがない

本製品背面の冷却ファンの吹き出し口、および本体前面の通風孔をふさがないでください。ふさぐと内部に熱がこもり、故障の原因となります。

## つぎのような場所で使わない

- ・急激な温度変化のあるところ
- ・直射日光があたる場所
- ・振動のある場所
- ・熱源の近く
- ・湿度の高い場所
- ・ほこりや油煙がある場所
- ・引火性のガスのある場所

つぎのような場所で使うと誤動作等の原因となることがありますので、避けてください。

- ・高周波を発生する機器の近く
- ・強力な磁気、静電気のある場所

## 録画中、画像転送中に電源を切らない

録画中(RECランプ点灯中)に電源を切らないでください。もし切ると、少なくともその時に録画していた画像は記録されません。最悪の場合は他の画像も再生できなくなることがあります。また、画像転送中(TRANSMITランプ点灯中)も電源を切らないでください。もし切ると、転送中の画像はサーバーに保存されません。

# DVD-RAMについて

## 使用できるDVD-RAM

本機で使用できるDVD-RAMはつぎの2種類です。これら以外のメディアには記録できません。

- ・ 4.7GB DVD-RAM “TYPE2”
- ・ 9.4GB DVD-RAM “TYPE4” (両面)

## フォーマットは本機で

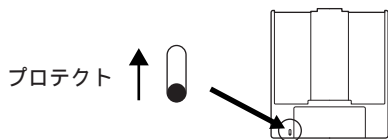
本機で使用するDVD-RAMは録画前に本機でフォーマットしてください。パソコンでフォーマットした場合や、買ったままでは録画できません。(付属のDVD-RAMはフォーマットしてありません。使用前にフォーマットしてください。)

## カートリッジから取り出さない

DVD-RAMはカートリッジから中のディスク本体を取り出すことができますが、本機で使用する場合は取り出さないでください。

## パソコンに入れるときは書き込み禁止に

本機で記録したDVD-RAMをパソコンのドライブに入れる場合は、DVD-RAMに付属の取扱説明書にしたがって、「プロテクトノッチ」を書き込み禁止の方に切り替えてください。



やむをえずカートリッジから中のディスクを取り出してパソコンのドライブに入れる場合は書き込みを禁止できませんが、書き込まないようにご注意ください。パソコンが勝手に書き込むこともあります。もし書き込んでしまった場合、そのDVD-RAMに記録済みのデータを保証できません。

## 移動するときはDVD-RAMを取り出して

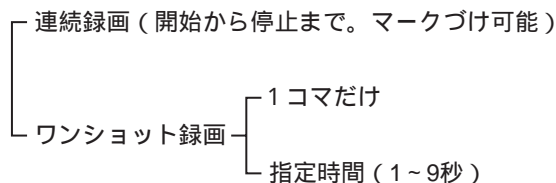
DVD-RAMを挿入したまま本機を持ち運ぶと故障の原因になります。DVD-RAMを取り出してから移動してください。

DVD-RAMの取り扱い、保管についてはDVD-RAMに付属の取扱説明書をお読みください。

本機以外の装置で記録したDVDや、市販のDVDビデオソフトを本機で再生することはできません。また、本機で記録したDVD-RAMを本機以外のDVDプレーヤーで再生することはできません。

# 録画動作について

本機の録画方法には下図のような種類があります。



**連続録画：** [開始] ボタンを押してから [停止] ボタンを押すまで連続で動画を記録します。録画中にマークをつけられます。

**ワンショット録画：** 動画の1コマだけを録画するか、指定時間だけ録画するかを選択できます。

**1コマ録画：** 動画の1コマだけを録画します。この場合は音声を録音できません。

**指定時間録画：** [開始] ボタンを押してから指定時間 (1~9秒) だけ録画します。

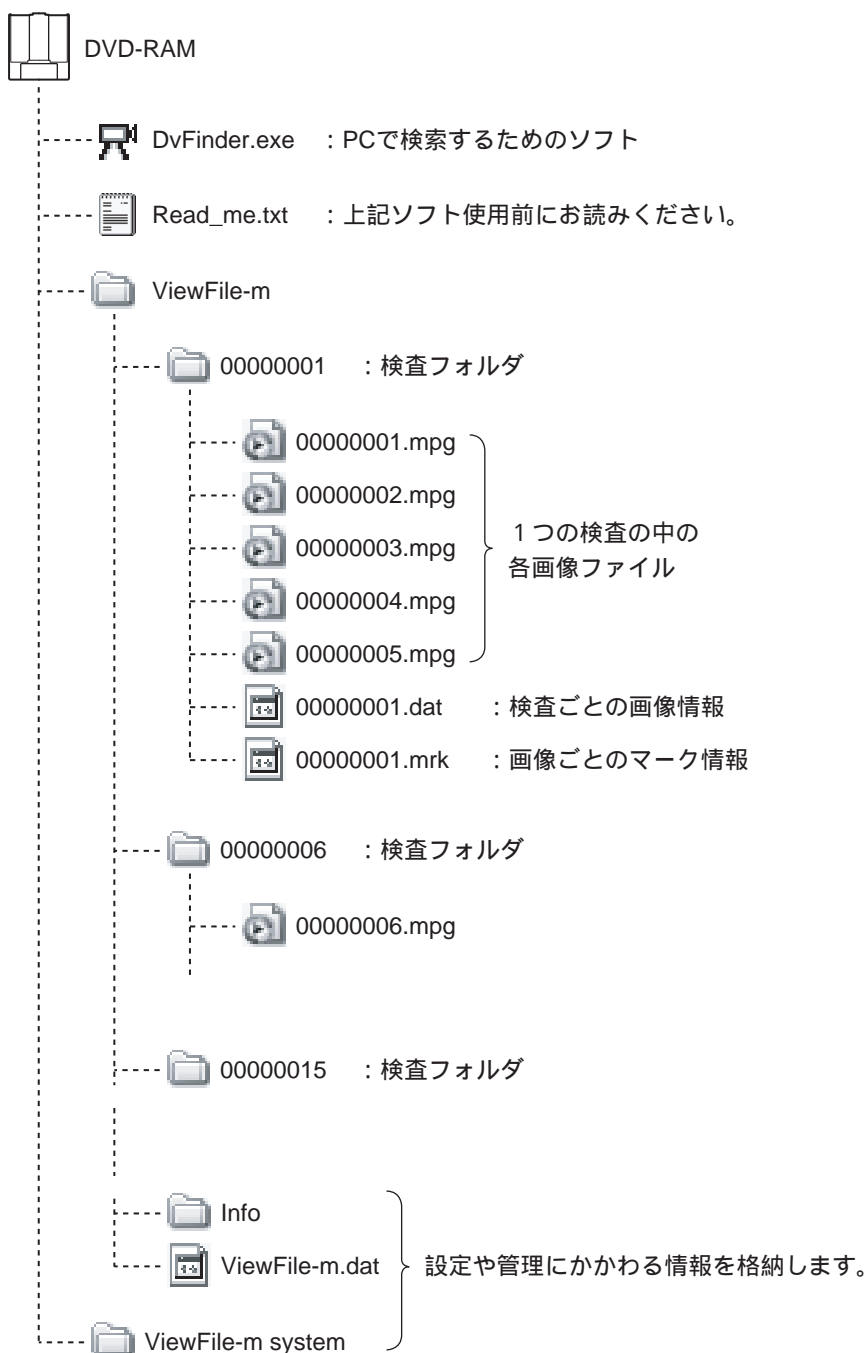
連続録画でもワンショット録画でも画質をEP、LP、SP、HQから選択できます。また、1コマではなく動画を録画する場合は画像の記録と同時に2チャンネルの音声を録音することができます。

# 画像ファイルについて

本機では [ 検査開始 ] ボタンを押してから [ 検査終了 ] ボタンを押すまでを「検査」と定義します。1つの検査に対して1つの「検査フォルダ」が作られます。この検査フォルダに、それぞれの「検査」の間に録画した一連の画像ファイルが格納されます。

- ディスクあたりの最大検査数： 9999  
(4.7GB DVD-RAMの場合。9.4GBでは片面で)
- 1検査あたりの最大ファイル数： 9999
- 1つのファイルの最大サイズ： 4 GB

ディスクの中のファイル構造は下図のようになります。



## 画像ファイル名

各画像ファイル (.mpg) のファイル名は、検査フォルダの枠を超えて1枚のディスクの中で連番になります。たとえば、ある検査フォルダの最後の画像ファイルが“00000005.mpg”とすると、次の検査フォルダの最初の画像のファイル名は“00000006.mpg”になります。

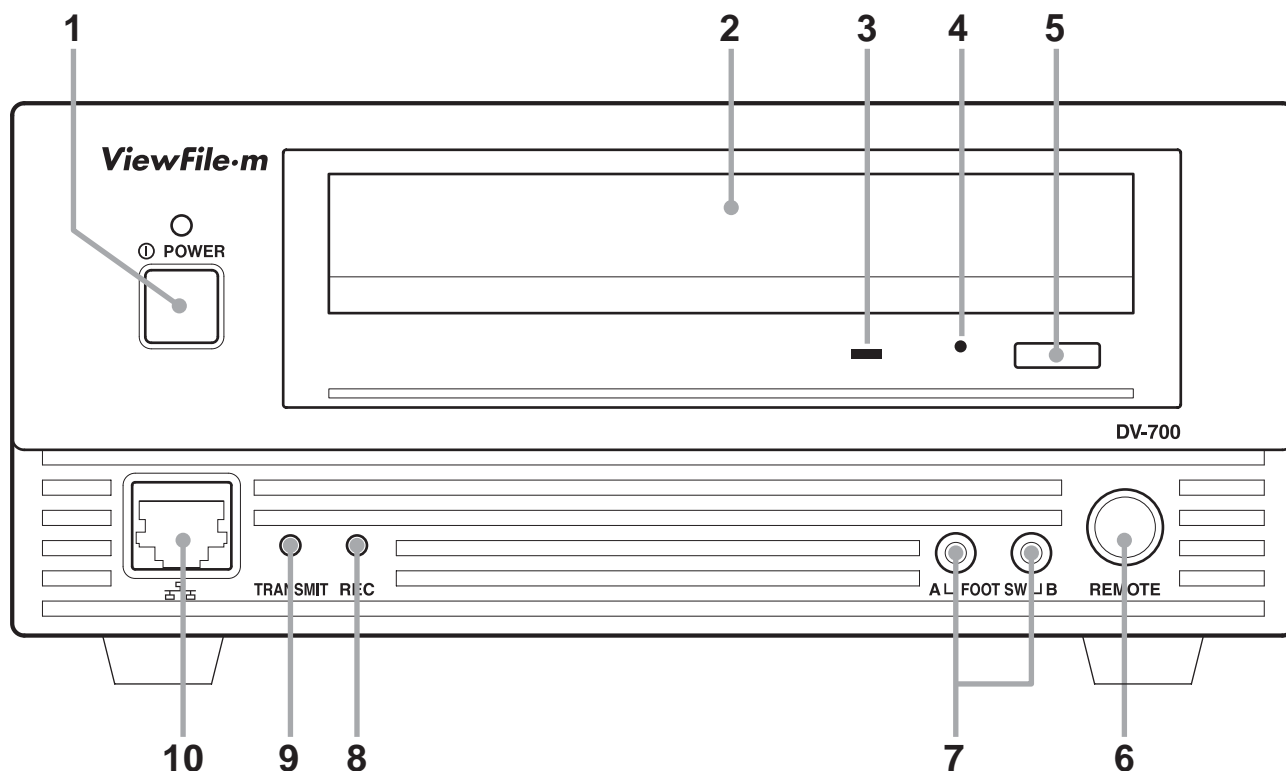
## 検査フォルダ名

各検査フォルダのフォルダ名は、そのフォルダの最初の画像のファイル名と同じになります。



# 各部のなまえ

## 前面



### 1 POWERスイッチ

電源を入れるとき、切るときに押します。電源が入ると上のランプが点灯します。録画中、画像転送中は電源を切らないでください。

### 2 ディスクトレイ

ディスクを入れるトレイです。

### 3 ドライブ動作表示ランプ

ディスクドライブの動作状態を表します。

消灯：ディスクが入っていない時

緑色点灯：ディスクが入っていてアクセスしていない時

オレンジ色点灯：ディスクにアクセス中

緑色点滅：ドライブでエラーが発生した時

### 4 強制イジェクトホール

停電などのためにディスクが取り出せなくなった場合に、付属の排出ピンを挿入します。排出ピンの挿入は電源が切れている状態で行ってください。

### 5 取り出しボタン

ディスクトレイを開けるときに押します。検査中、検索・再生中、画像転送中は開けられません。

### 6 REMOTEコネクタ

付属のリモコンを接続します。

### 7 FOOT SWジャック

別売のフットスイッチで録画の開始・停止、マークづけを制御したいときに使います。“A”ジャックと“B”ジャックの機能は設定により変更できます。

### 8 RECランプ

録画中に点灯します。

### 9 TRANSMITランプ

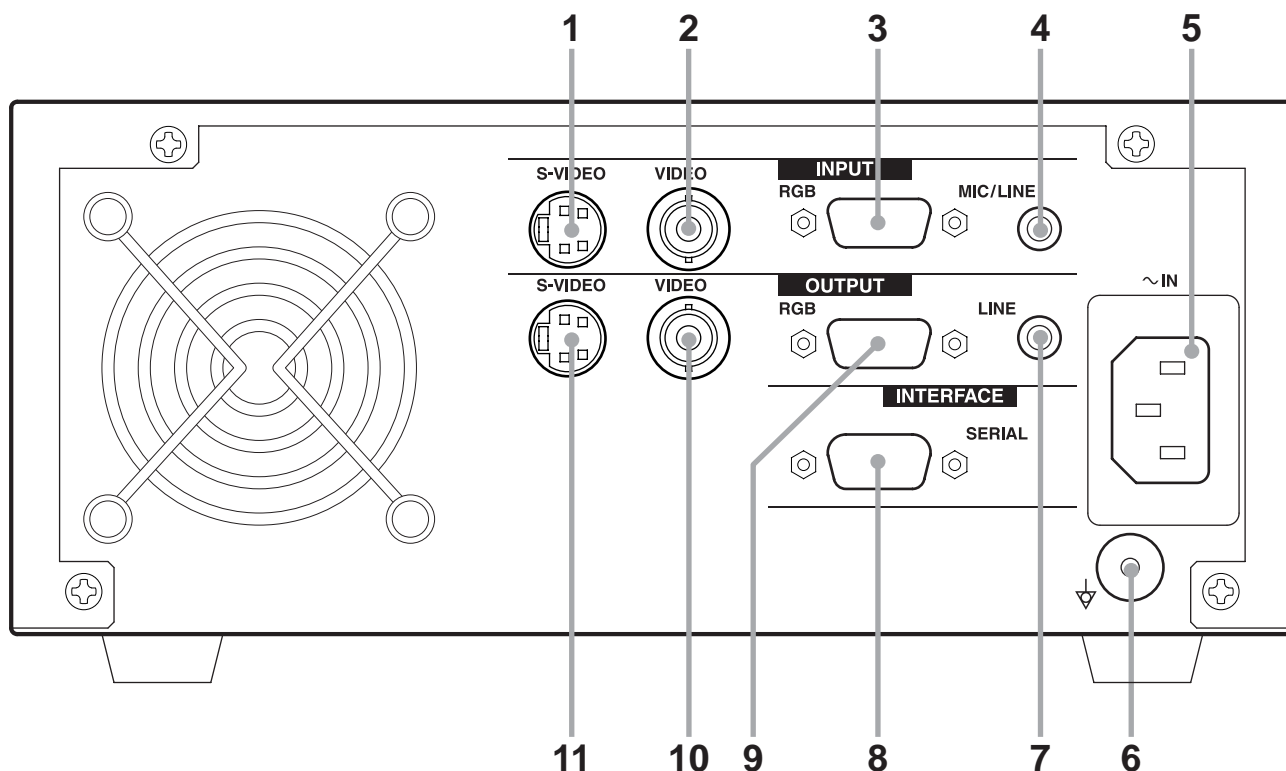
画像ファイルの転送中に点灯します。

### 10 LANコネクタ

画像ファイルを転送するときにネットワークに接続します。

# 各部のなまえ

## 背面



### 1 S-VIDEO入力コネクタ

S-VIDEO信号を入力します。

### 2 VIDEO入力コネクタ

VIDEO信号を入力します。

### 3 RGB入力コネクタ

RGB信号を入力します。

### 4 MIC/LINE入力コネクタ

音声信号を入力します。

### 5 電源コネクタ

付属の電源コードを接続します。アース線は必ず接地してください。

### 6 等電位化端子

本機と他の機器とを等電位化するときに使います。

### 7 LINE出力コネクタ

再生した音声信号を出力します。

### 8 SERIALコネクタ

RS-232Cで本機をコントロールするときに使います。詳細はお問い合わせください。このコネクタにはカバーを取り付けて出荷しますので、使用する際はドライバーでカバーを外してください。

### 9 RGB出力コネクタ

RGB信号を出力します。

### 10 VIDEO出力コネクタ

VIDEO信号を出力します。

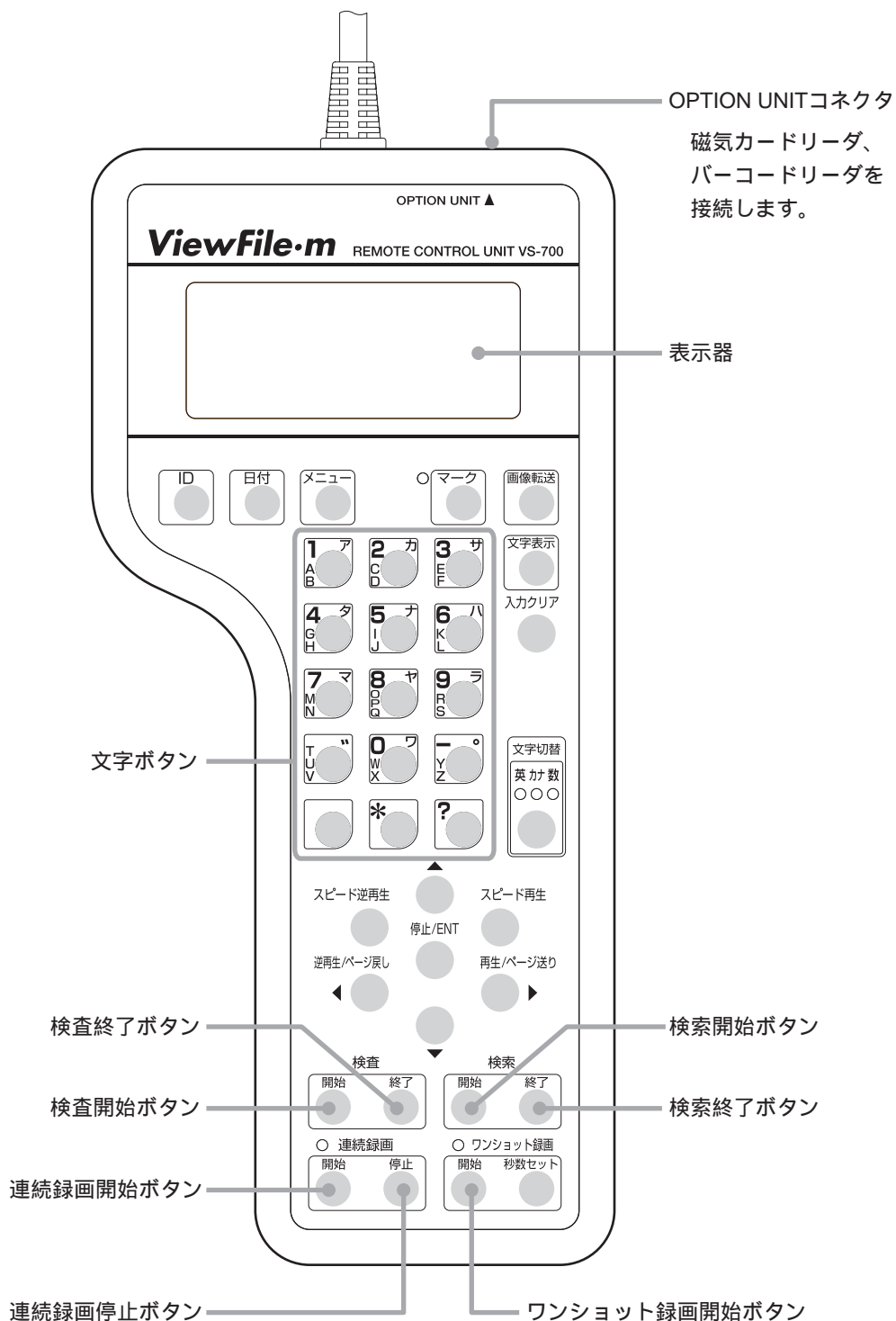
### 11 S-VIDEO出力コネクタ

S-VIDEO信号を出力します。

# 各部のなまえ

## リモコン

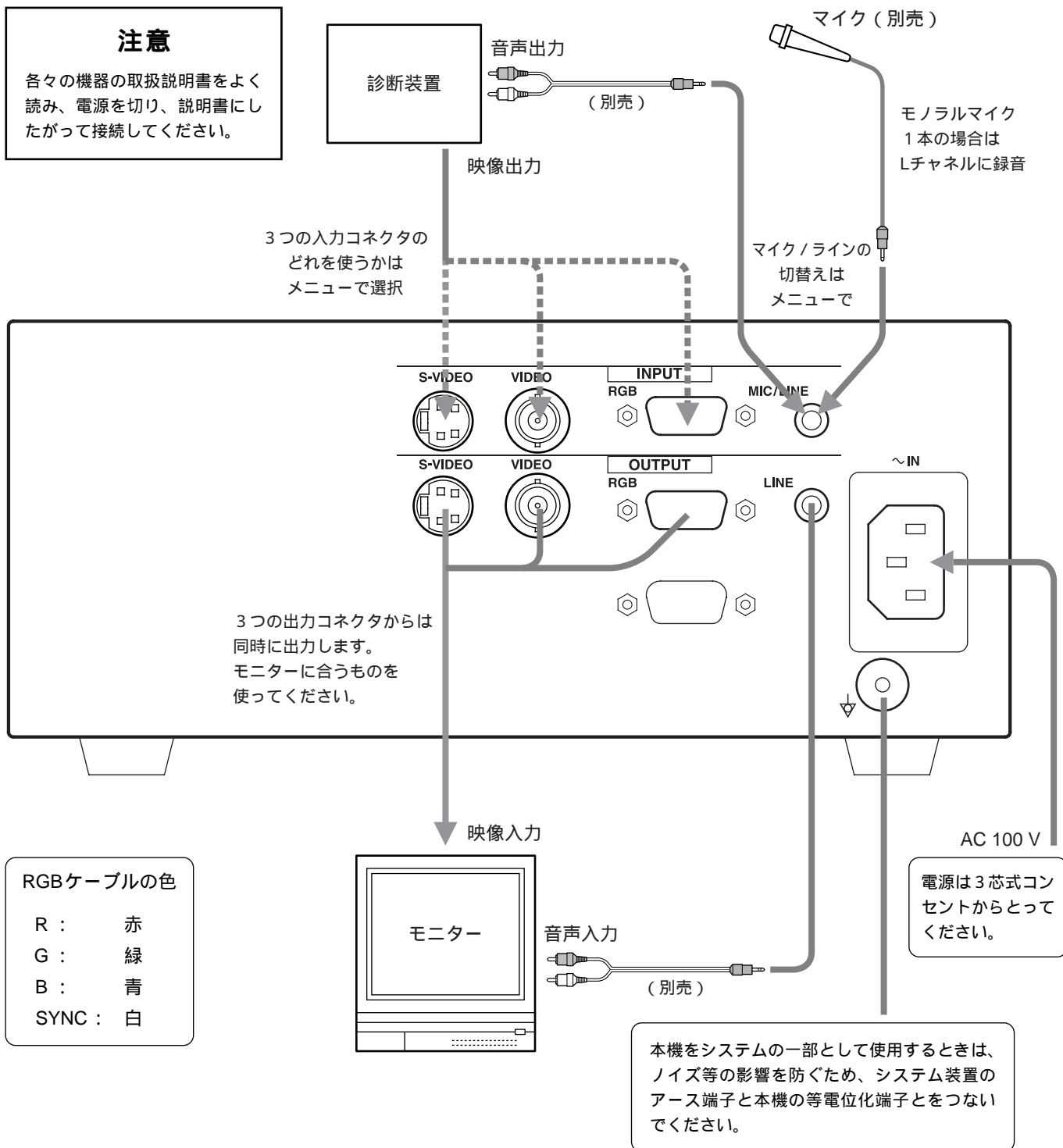
リモコンの各部の名前は下図に示したものを除き、パネルの表記にしたがって「IDボタン」、「マークランプ」、「ボタン」等とよびます。



ㄨ 暗い所での操作のためにボタンをほのかに光らせることができます。設定のしかたは『設定を変更する』の章をお読みください。

OPTION UNITコネクタの接続、取り外しは本体の電源を切った状態で行ってください。本機で使える磁気カードリーダー、バーコードリーダーについてはお問い合わせください。

# 接続する

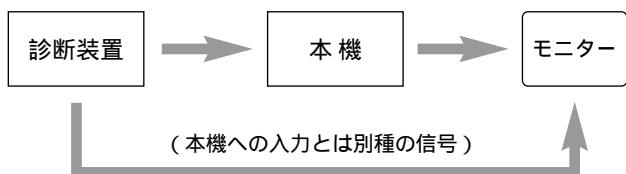


RGBケーブルの色

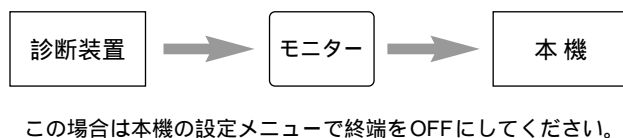
R : 赤  
 G : 緑  
 B : 青  
 SYNC : 白

上図の接続例では本機の電源を切るとモニターで入力画像を見ることはできません。電源を切っても入力画像を見られるようにするには下図のどちらかの方法で接続してください。

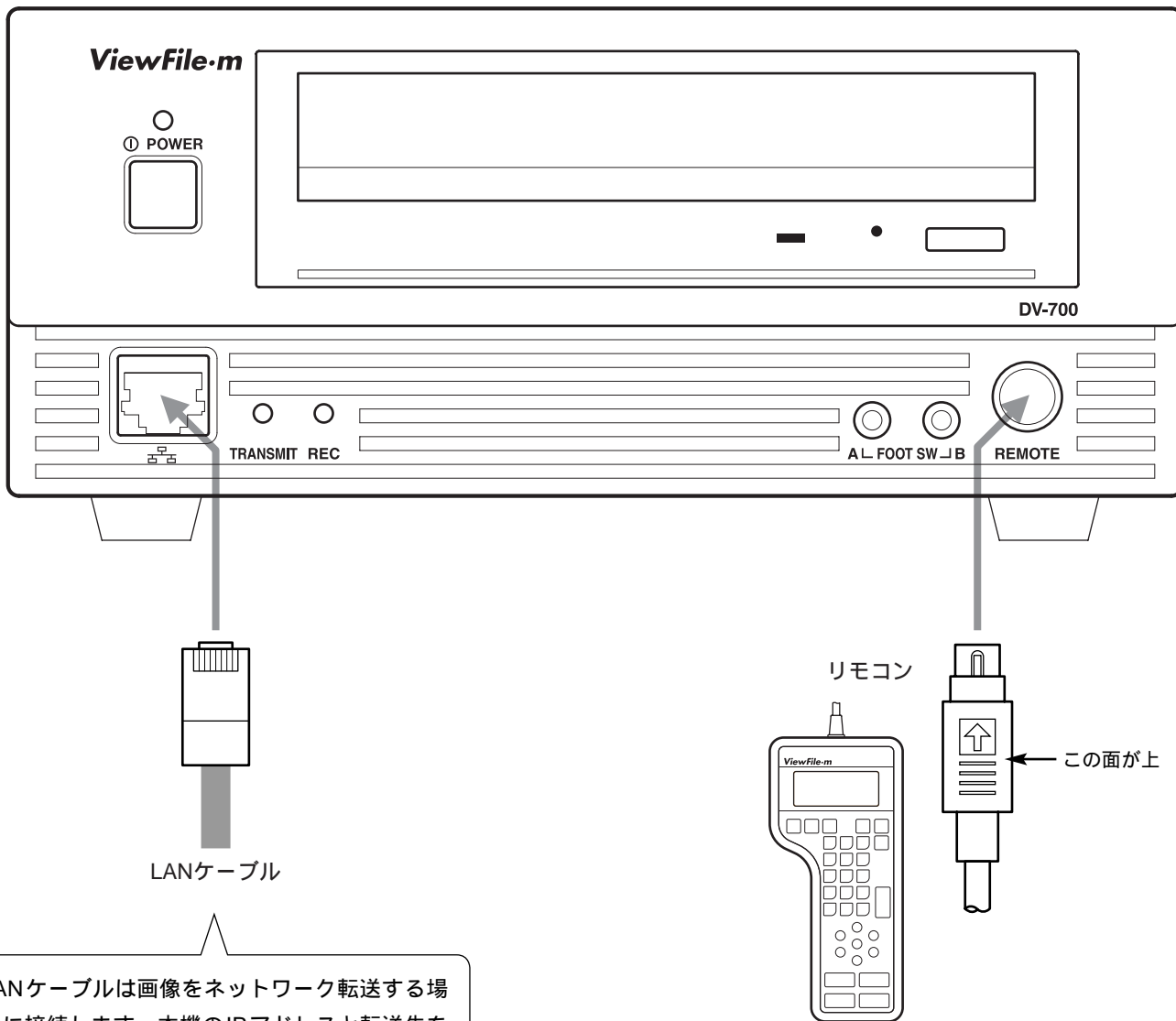
**【接続例】**



**【接続例】**



# 接続する



LANケーブル

LANケーブルは画像をネットワーク転送する場合に接続します。本機のIPアドレスと転送先をメニューで設定してから接続してください。

ネットワークの設定・接続についてはネットワーク管理者の指示に従ってください。

## 注意

リモコン、磁気カードリーダー、バーコードリーダーのプラグの抜き差しをするときには電源を切ってください。電源を入れたまま抜き差しすると、故障の原因となることがあります。

万一、電源が入っている状態でプラグが抜けてしまった場合は、ドライブ動作表示ランプがオレンジ色に点灯していないこと、なおかつRECランプ、TRANSMITランプが消灯していることを確認し、いったん電源を切ってから差し直してください。

# 録画の前に

## 録画前に必要な設定

録画の前につぎの項目を設定する必要があります。設定のしかたについては『設定を変更する』の章をお読みください。

### 録画動作の設定

画質と、ワンショット録画時間を設定します。(p. 37)  
この設定は検査中(スタンバイ中)に変更できます。

### 入力信号の選択

S-VIDEO、VIDEO、RGBの、どの信号を録画するかを選択します。(p. 37)  
この設定は検査中(スタンバイ中)に変更できます。

### 音声入力の設定

音声を録音するか否か、入力のレベルはラインかマイクか、AGC(自動ゲイン調整)を使うか否かを設定します。(p. 37)  
この設定は検査中(スタンバイ中)に変更できます。

### IPアドレス、転送先の設定

画像をネットワーク転送するために必要な設定です。本機のIPアドレスを設定し、転送先を指定します。この設定が済むまでネットワークに接続しないでください。(p. 41)

### 磁気カードリーダー/バーコードリーダーのための設定

磁気カードリーダー/バーコードリーダーを使う場合の設定です。磁気カード/バーコードに書かれた情報の何バイト目を読み込むかを設定します。(p. 43)

### 時計合わせ

本機の内蔵時計を合わせます。(p. 44)

## 電源の入れかた/切りかた

### 電源を入れるには

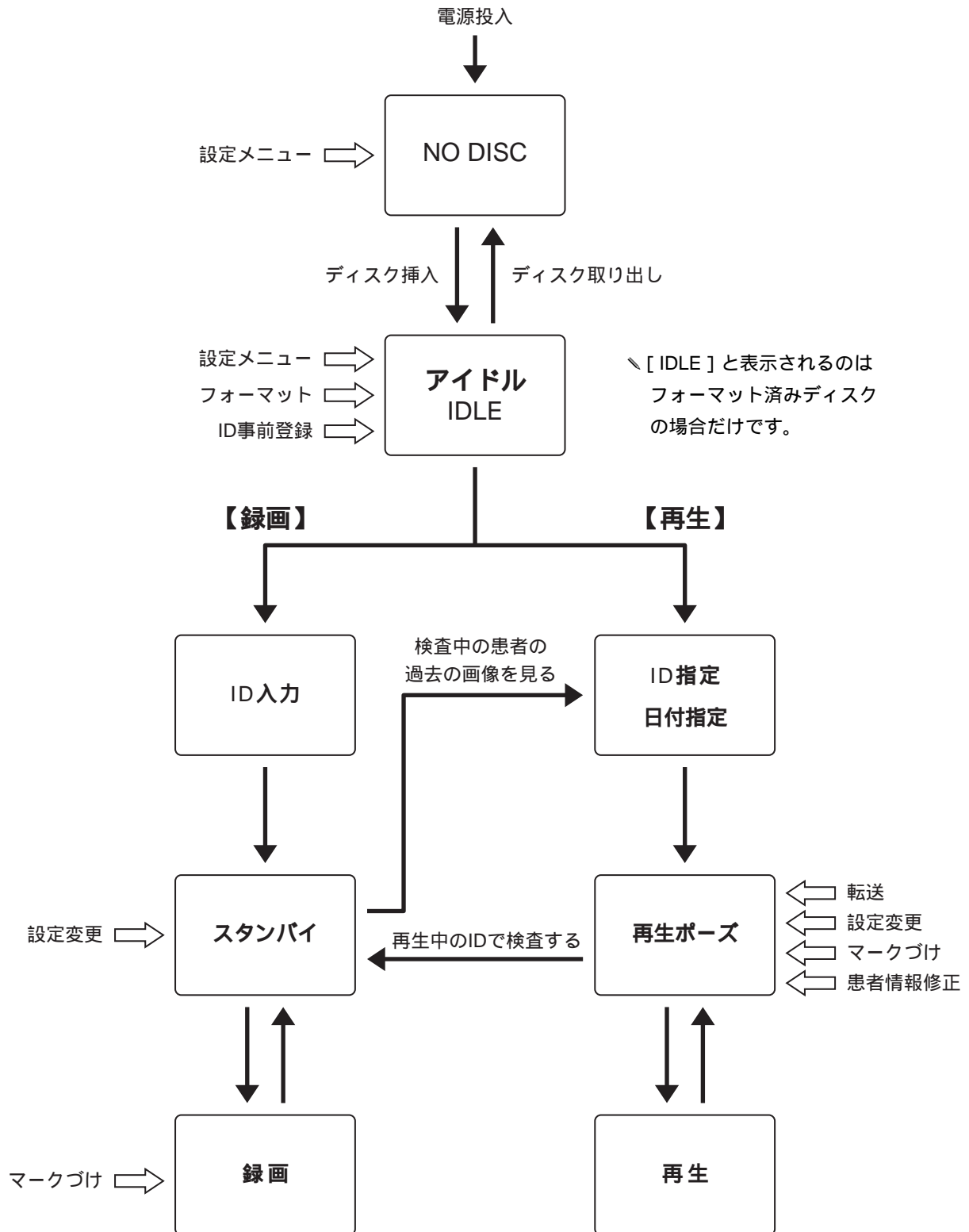
- 1 診断装置、モニターの電源を入れます。
- 2 POWERスイッチを押します。  
POWERランプが点灯し、リモコンに“Welcome to DV700”と表示されます。

### 電源を切るには

- 1 検査中は[検査終了]ボタンを、検索・再生中は[検索終了]ボタンを押します。
- 2 TRANSMITランプが点灯している場合は消灯するまで待ちます。  
転送を強制的に中止するには[画像転送]ボタンを約1秒間押してください。
- 3 POWERスイッチを押します。

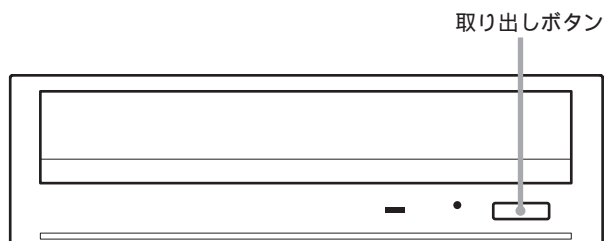
# おおまかな操作フロー

操作のおおまかな流れを下に示します。

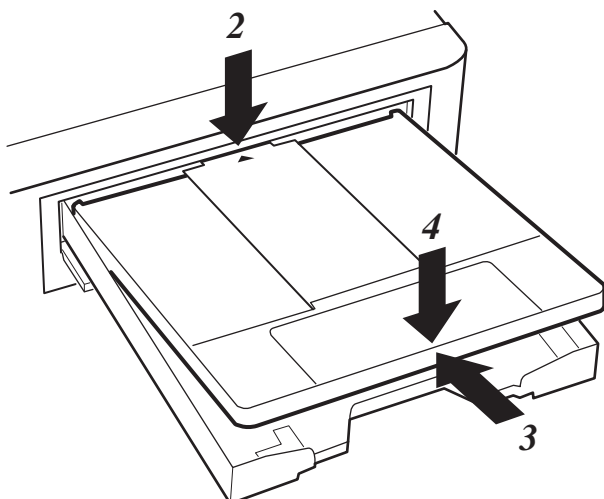


# ディスクを入れる

- 1 取り出しボタンを押してディスクトレイを開けます。



- 2 ディスクをトレイに置きます。4.7GBディスクの場合はシャッタに文字が印刷されている面を上にしします。(裏返しには入りません。) 9.4GBの場合は録画する面を上にしします。



- 3 ディスクを装置側へ2 cmほど押します。
- 4 ディスクの手前上面を軽く押さえ、トレイにおさめます。
- 5 取り出しボタンを押してトレイを閉めます。  
トレイを装置側へ軽く押してもトレイは閉まります。

ドライブ動作表示ランプがオレンジ色に点灯し、数秒後に緑色に変わります。  
リモコン、モニターには約15秒後にディスクの状態に応じてメッセージが表示されます。

## ディスクの取り出しかた

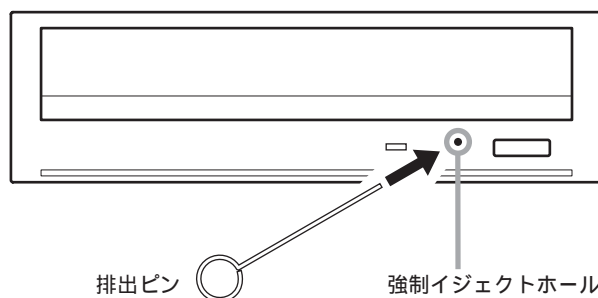
ディスクを取り出すには、取り出しボタンを押してディスクトレイを開けます。

- ◇ 取り出しボタンは、アイドル時に有効です。検査中、検索・再生中、画像転送中は無効になります。

## ディスクを強制的に取り出すには

停電などのためにディスクが取り出せなくなった場合は、以下の手順で取り出すことができます。

- 1 POWERランプが消灯していることを確認します。
- 2 付属の排出ピンを強制イジェクトホールに4～5回挿入します。挿入するたびに少しずつトレイが出て来ます。



- 3 トレイが十分に出てからゆっくりと手前に引き出し、ディスクを取ります。
- 4 トレイを装置側へゆっくりと押し閉めます。

### 注意

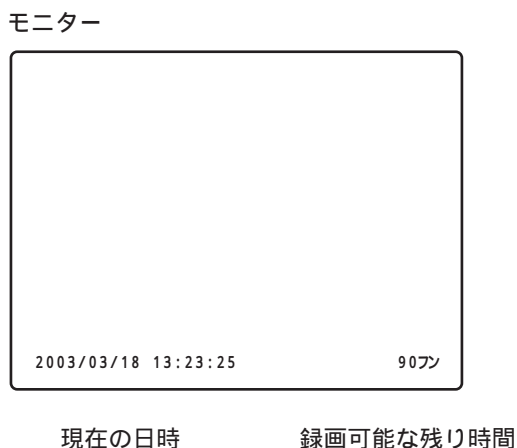
排出ピンは電源が切れている状態で挿入してください。電源が入っているときに挿入すると、故障の原因となることがあります。



# 画面の表示について

## ディスクを入れたときの表示

本機でフォーマット済みのディスクを入れると、つぎのように表示されます。この状態を“アイドル”と呼びます。



- 録画可能時間は、画像のファイルサイズが最大限度（4 GB）になるか、またはディスクがフルになるまでに連続で録画できる時間です。入力画像により変わりますので、目安として見てください。
- モニターに表示される文字情報は [ 文字表示 ] ボタンで（すべてを表示）（一部を表示）（何も表示しない）の3段階に切り替えることができます。電源投入直後の状態でどう表示するかを設定することができます。  
☞ 『設定を変更する』
- 下のメッセージが表示されたときは録画できません。

“ UNFORMAT DISC ”

本機でフォーマットしていないディスクの場合に表示されます。『フォーマットする』のページの説明にしたがってフォーマットしてください。（付属のディスクはフォーマットしてありません。）

“ ILLEGAL DISC ”

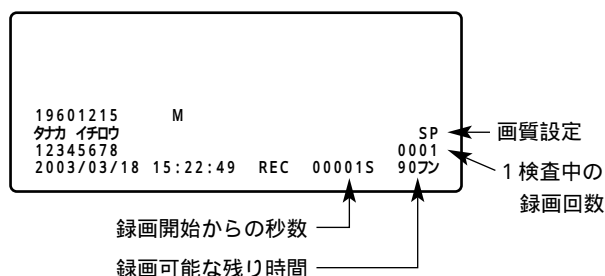
本機で使えないディスクの場合に表示されます。ディスクを取り出し、容量とタイプを確認してください。

“ PROTECTED DISC ”

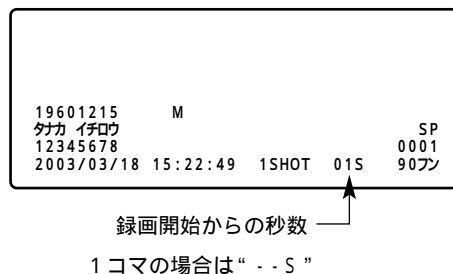
書き込み禁止になっているディスクで検査を開始しようとすると表示されます。

## 録画中の表示

### 連続録画中の表示



### ワンショット録画中の表示



## ディスクの残り容量が少なくなると

録画中に残り時間が5分を切るとブザーが鳴り、モニター画面とリモコンに「!! DISC コウカン !!」と表示されます。どれかボタンを押すとブザーは止まり、表示は消えます。この時そのボタンに対応する動作にはなりません。

また、録画できる残り時間が5分未満のときに検査を開始しようとすると、上記と同様にブザーと表示で警告します。この場合のブザーと表示は数秒後に消えます。

# フォーマットする

本機で使用するディスクは録画前に本機でフォーマットしてください。パソコンでフォーマットした場合や、買ったままでは録画できません。フォーマット方式には“クイック”

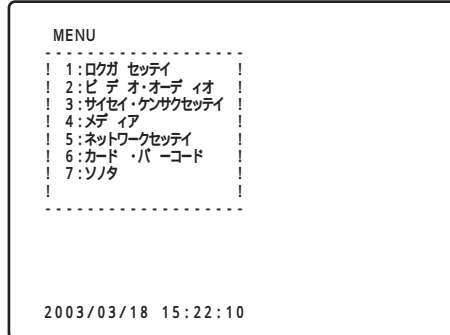
と“完全”、“物理”の3種類があり、下記の手順は“クイック”によるものです。“完全”、“物理”による手順については『設定を変更する』の章をお読みください。(p. 40)

**1** ディスク挿入直後、またはアイドルの状態  
リモコンの[メニュー]ボタンを押します。

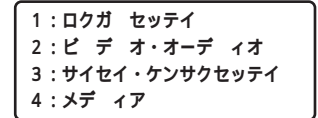
モニター、リモコンにメニューが現れます。

元の画面に戻るには、もう一度[メニュー]ボタンを押します。

モニター



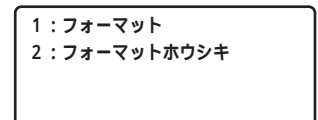
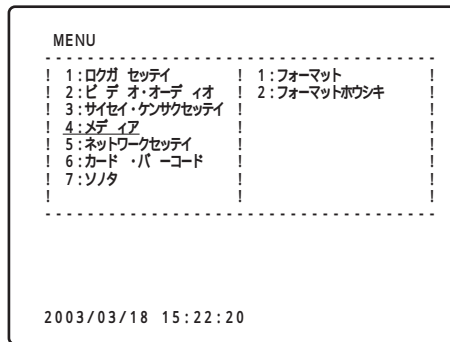
リモコン



**2** [4]ボタンを押します。

モニター、リモコンの表示が右のように変わります。

フォーマットせずに元の画面に戻るには[メニュー]ボタンを2回押します。

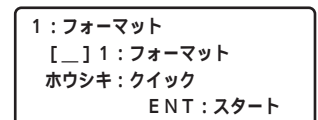
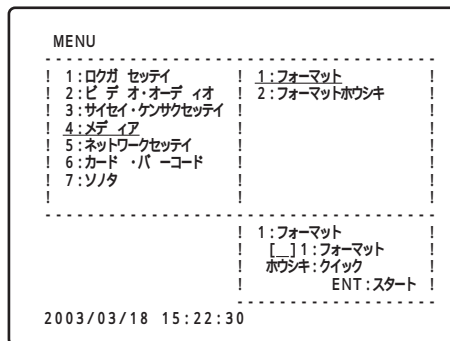


**3** [1]ボタンを押します。

モニター、リモコンの表示が右のように変わります。

「ハウシキ:」が「カンゼン」または「ブツリ」と表示されているときはフォーマット方式を変更してください。(p. 40)

フォーマットせずに元の画面に戻るには[メニュー]ボタンを3回押します。

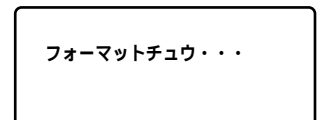
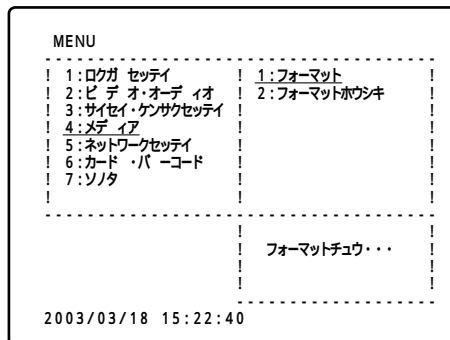


**4** [1]ボタンを押し、[停止/ENT]ボタンを押します。

フォーマットが始まり、約10秒後にフォーマットが終わり手順2の状態に戻ります。

**5** [メニュー]ボタンを2回押します。  
アイドル状態になります。

フォーマットすると同時に検索ソフトが書き込まれます。

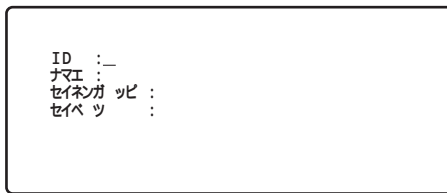


# 録画する

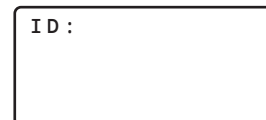
1 アイドル状態で [ ID ] ボタンを押します。  
ID入力待ち状態になります。

アイドルに戻るには [ ID ] ボタンを押します。

モニター



リモコン



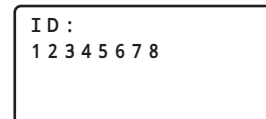
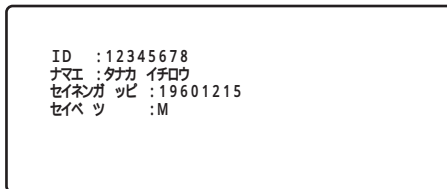
2 文字ボタンでIDを入力します。必要に応じて  
名前、生年月日、性別を入力してください。

(文字の入力のしかた ⇨ 次ページ)

磁気カードリーダー、バーコードリーダーを使う場合はこの時に読み取ってください。

入力し直すには [ ID ] ボタンを2回押します。

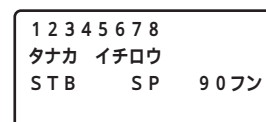
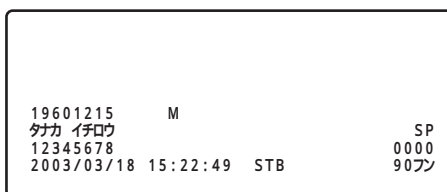
IDは入力しないと“999999999”になります。



3 [ 検査開始 ] ボタンを押します。

この状態を“スタンバイ”と呼びます。

モニターの文字情報の量は [ 文字表示 ] ボタンで  
3段階に切り替えられます。



4 検査に必要な回数だけ下の手順をくり返します。

## 【連続録画の場合】

[ 連続録画開始 ] ボタンを押します。

マークをつけるには

[ マーク ] ボタンを押します。(100回まで)

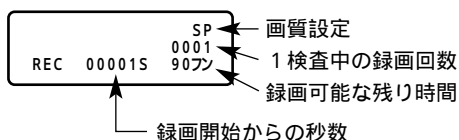
録画を停止するには

[ 連続録画停止 ] ボタンを押します。

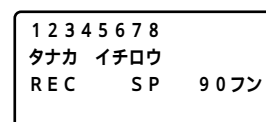
スタンバイに戻ります。

## 連続録画中の表示

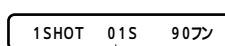
モニター右下



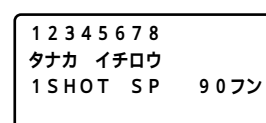
リモコン



## ワンショット録画中の表示



録画開始からの秒数。  
1コマの場合は“- - S”



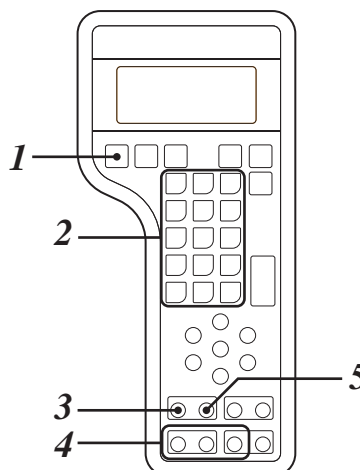
## 【ワンショット録画の場合】

[ ワンショット録画開始 ] ボタンを押します。

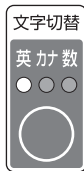
指定時間後にスタンバイに戻ります。

- 録画停止から書き込み終了まで数秒かかることがあります。その間はRECランプが点滅し、モニター、リモコンには“REC STOP”と表示されます。
- 録画中に残り時間が5分を切るとブザーが鳴ります。ブザーはどれかボタンを押すと止まります。この時そのボタンに対応する動作にはなりません。

5 [ 検査終了 ] ボタンを押して終了します。  
アイドルに戻ります。



# 文字の入力のしかた



文字を入力するには、[文字切替]ボタンで“英”（アルファベット）“カナ”（カタカナ）“数”（数字）を切り替え、入力したい文字ボタンを押します。

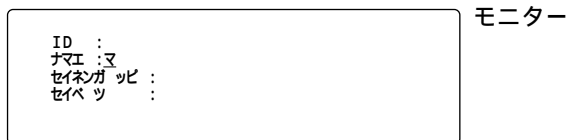
例：名前に「マツタ<sup>\*</sup>」と入力する

1 [ ] ボタンを押してカーソルを2行目に移動します。

[停止/ENT]ボタンでもカーソルは下の行に移動します。

2 [文字切替]ボタンを押して“カナ”を点灯させます。

3 [7]（マ）ボタンを1回押します。



4 [4] ボタンを3回押します。「マツ」

5 [▶] ボタンを1回押します。「マツ\_」

（「ツ」と「タ」は同じボタンに割り当てられています。“英”モード、“カナ”モードの場合、同じボタンに割り当てられた文字を続けて入力するには、[▶]ボタンを押してカーソルを右に移動します。）

6 [4] ボタンを1回押します。「マツタ」

7 [・] ボタン（[7]ボタンの下）を1回押します。「マツタ<sup>\*</sup>」

## 入力した文字を訂正するには

[◀]ボタン、[▶]ボタンを押してカーソルを訂正したい文字に移動し、正しい文字を入力し直します。

## すべての文字を消すには

[入力クリア]ボタンを押すとその行に入力した文字がすべて消えます。

## スペースについて

スペースの使用は文字列の途中に限られます。文字列の先頭または最後にスペースを入れた場合、そのスペースは自動的に削除されます。

## 入力できる文字数

ID： 32文字  
名前： 32文字  
生年月日： 12文字  
性別： 1文字

## 使える文字

### “英”モードのとき

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	-	*	?			
押す回数	1	A	C	E	G	I	K	M	O	R	T	W	Y	(スペース)	*	?
	2	B	D	F	H	J	L	N	P	S	U	X	Z			
	3							Q			V					

### “カナ”モードのとき

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	-	*	?			
押す回数	1	ア	カ	サ	タ	ナ	ハ	マ	ヤ	ラ	・	ワ	・	(スペース)	*	?
	2	イ	キ	シ	チ	ニ	ヒ	ミ	ユ	リ		ラン				
	3	ウ	ク	ス	ツ	ヌ	フ	ム	ヨ							
	4	エ	ケ	セ	テ	ネ	ヘ	メ	ョ							
	5	オ	コ	ソ	ト	ノ	ホ	モ	ュ	ロ						
	6	ア			ッ			ョ								
	7	イ														
	8	ウ														
	9	エ														
	10	オ														

### “数”モードのとき

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	-	*	?		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	(無効)	0	(記号・下記参照)	(スペース)	*	?

“数”モードのときの“-”（ハイフン）ボタンは押すたびにつぎのような記号を入力できます。  
- / ! % , . : ; ( ) [ ] ' ”

カタカナの長音“-”を入力するには、“数”モードに切り替えて“-”（ハイフン）を押してください。

“\*”と“?”はIDには使えません。

# 録画のとき便利です

## IDを事前に登録する

録画前に本機のメモリーにIDなどの患者情報を記憶させておくことができます。最大100件まで登録でき、電源を切るまで保持します。

### 登録する

- 1 アイドル状態で [ ID ] ボタンを押し、IDを入力します。必要に応じて名前、生年月日、性別も入力してください。

```
ID : 12345678
ナメ : タカ イチロウ
セイネガ ッピ : 19601215
セイベ ッ : M

2003/03/18 13:20:03
```

```
ID :
1 2 3 4 5 6 7 8 _
```

- 2 [ マーク ] ボタンを押します。ID入力待ち状態に戻ります。
- 3 続けてつぎに登録するIDを入力します。
- 4 すべて入力し終わったら [ ID ] ボタンを押し、アイドル状態に戻ります。

## 登録したIDを呼び出す

- 1 アイドル状態で [ ID ] ボタンを押し、ID入力待ち状態にします。
- 2 [ メニュー ] ボタンを押します。登録したIDが一覧表示されます。

```
ヨヤクIDリスト P0001/0002
今このページ /
全ページ数

>: 11111111
タカ イチロウ
: 22222222
サトウ カズ オ
: 33333333
スズ キ ヒロシ
: 44444444
カトウ タカシ
: 55555555
マツダ トシヒコ
: 66666666
マエダ キヨシ
2003/03/18 15:22:49
```

```
ID :
1 1 1 1 1 1 1 1 _

P 0 0 0 1 / 0 0 0 2
```

モニター画面には6件まで表示されます。7件以上ある場合は [ 再生/ページ送り ] ボタンでページを送り、 [ 逆再生/ページ戻し ] ボタンで前のページに戻ることができます。IDの選択を中止するには [ ID ] ボタンを押します。

- 3 選択するIDの行に ▶ マークを [ ] ボタン / [ ] ボタンで移動し、 [ 停止/ENT ] ボタンを押します。選択したIDがモニターとリモコンに表示されます。

```
ID : 55555555_
ナメ : マツダ トシヒコ
セイネガ ッピ : 19601215
セイベ ッ : M
```

```
ID :
5 5 5 5 5 5 5 5 _
```

IDの選択をやり直すには [ メニュー ] ボタンを押します。

- 4 [ 検査開始 ] ボタンを押して検査を始めます。

一度検査を行ったIDは“ヨヤクIDリスト”画面でその行の左端に\*マークが表示されます。

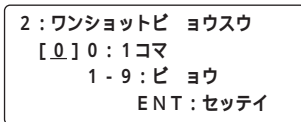
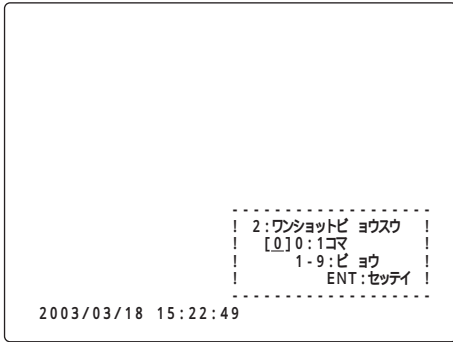
例) \* : 5 5 5 5 5 5 5 5

# 録画のとき便利です

## ワンショット録画秒数を変更する

検査開始後にワンショット録画の秒数（1コマまたは1～9秒）を変更することができます。

- 1 スタンバイ状態（“STB”と表示されている状態）で [秒数セット] ボタンを押します。  
モニター、リモコンにつきのように表示されます。



＼ 設定変更を中止するには [メニュー] ボタンを押します。

- 2 数字ボタンで秒数を入力します。  
1コマだけ録画するには [0] を選択します。

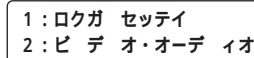
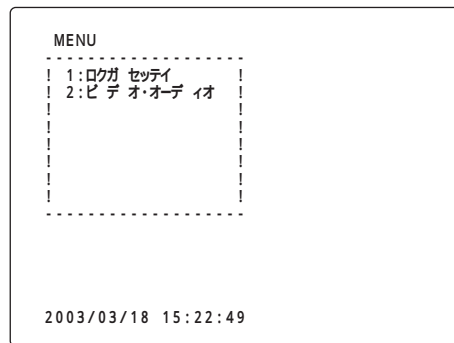
- 3 [停止/ENT] ボタンを押します。  
スタンバイ状態に戻ります。

## 録画にかかわる設定を変更する

検査開始後に録画にかかわるつぎの3項目の設定を変更することができます。

- ・画質
- ・ワンショット録画秒数
- ・映像 / 音声入力信号にかかわる設定

- 1 スタンバイ状態（“STB”と表示されている状態）で [メニュー] ボタンを押します。  
モニター、リモコンにつきのように表示されます。



＼ 設定変更を中止するには [メニュー] ボタンを押します。

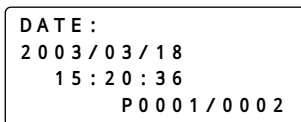
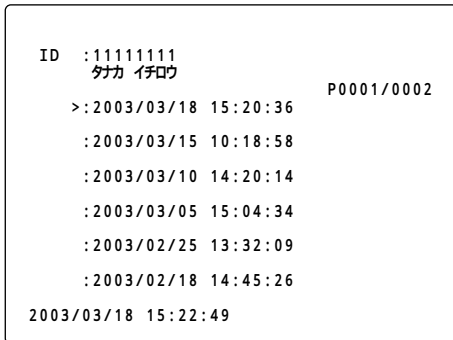
- 2 これ以降の操作については『設定を変更する』の章をお読みください。(p. 37)

# 録画のとき便利です

## 検査中の患者の過去の画像を見る

現在検査中の患者の過去に録画した画像を、検査を終了せずに再生することができます。

- 1 スタンバイ状態（“STB”と表示されている状態）で [ 検索開始 ] ボタンを押します。  
現在検査中の患者の検査日の一覧が新しい順に表示されます。



※ モニター画面には6件まで表示されます。7件以上ある場合は [ 再生/ページ送り ] ボタンでページを送り、[ 逆再生/ページ戻し ] ボタンで前のページに戻ることができます。

※ スタンバイに戻るには [ 検査開始 ] ボタンを押します。

- 2 ボタン / ボタンで、再生したい検査の行に ▶ マークを移動し、[ 停止/ENT ] ボタンまたは [ 検索開始 ] ボタンを押します。  
選択した検査の中の最初の画像が静止画で表示されます。

- 3 そこから再生するには [ ▶ ] ボタンを押します。  
再生の操作については次章『再生する』をお読みください。

- 4 再生を終えるには [ 停止/ENT ] ボタンを押して一時停止状態にし、[ 検査開始 ] ボタンを押します。  
スタンバイ状態に戻ります。  
この状態から録画を開始するとふたたび同じ検査フォルダに画像を記録することができます。

## シリーズ番号をインクリメントする

本機は「シリーズ番号」を画像に加えて記録しています。記録したシリーズ番号は別売のソフトウェア“VIEWFILE Carna”などで画像を検索する際にご利用いただけます。

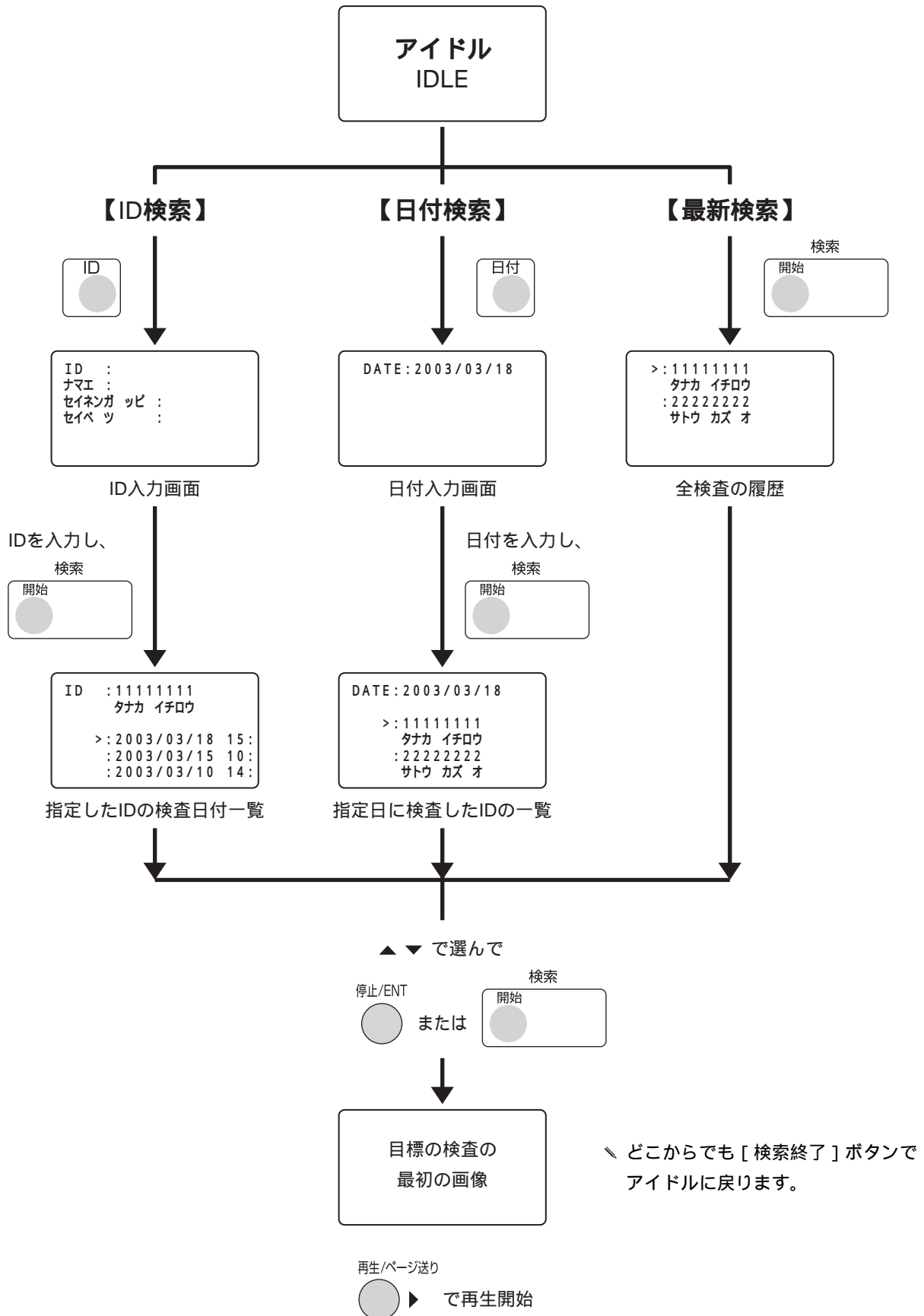
録画中にシリーズ番号をインクリメントする（1つ増やす）には、つぎのように操作します。

- 1 スタンバイ状態（“STB”と表示されている状態）でスペースボタン（文字ボタンのうち左下の何も書いてないボタン）を押します。

あらたなシリーズ番号が画面中央に一時的に表示されます。

# 検索のフロー

検索のおおまかな手順を下に示します。



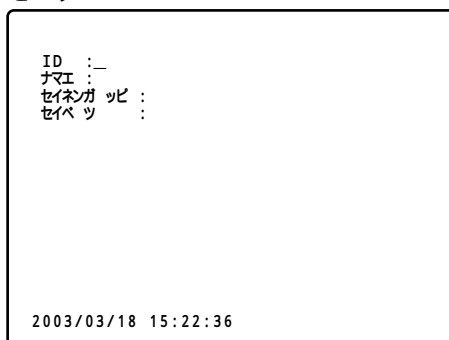


# IDで検索する

まずIDを指定し、つぎにそのIDを録画した検査日付のリストから希望の日付を選択して検索します。

**1** アイドル状態で [ ID ] ボタンを押します。  
ID入力待ち画面になります。

モニター



リモコン

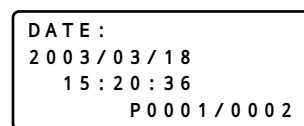
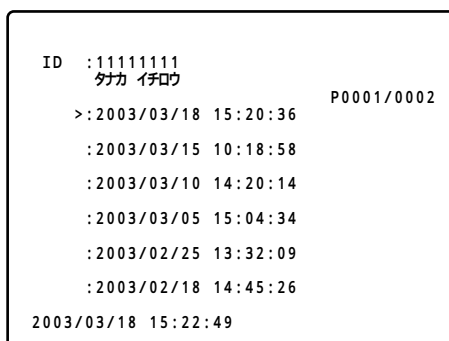


**2** IDを入力し、[ 検索開始 ] ボタンを押します。  
磁気カードリーダー、バーコードリーダーを使う場合はカードを読み取って [ 検索開始 ] ボタンを押します。

＼ IDが不明のときの検索方法 ⇨ 次ページ

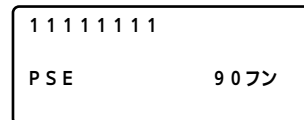
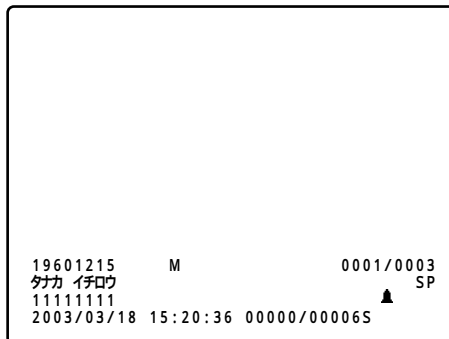
指定したIDの検査日のリストが新しい順にモニターに表示されます。

**3** [ ] ボタン / [ ] ボタンで、再生したい日付に ▶ マークを移動し、[ 停止/ENT ] ボタンまたは [ 検索開始 ] ボタンを押します。



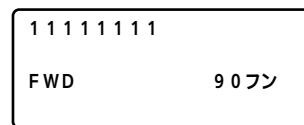
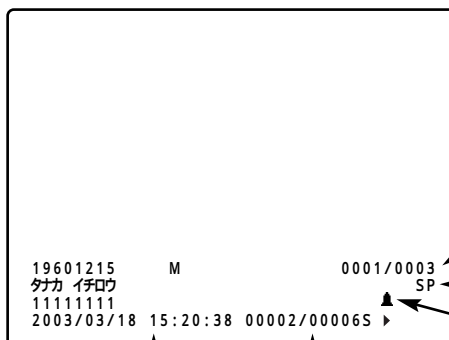
モニター画面には6件まで表示されます。7件以上ある場合は [ 再生/ページ送り ] ボタンでページを送り、[ 逆再生/ページ戻し ] ボタンで前のページに戻ることができます。

選択した検査の最初の画像が静止画で表示されます。



モニターの文字情報の量は [ 文字表示 ] ボタンで3段階に切り替えられます。

**4** [ ▶ ] ボタンを押して再生します。



**5** 再生を終えるには [ 検索終了 ] ボタンを押します。  
アイドル状態に戻ります。

検査の中の画像の順番 / 検査の総画像数  
録画時の画質設定  
マークがあることを示す。

検査日時  
現在の位置 / 画像の長さ (秒)  
画像の最後で秒数が一致しないことがあります。

# IDで検索する

## IDが不明のときは

検索したいIDが不明のときは、“ワイルドカード”を使ってあいまい検索をすることができます。

使えるワイルドカードは[ \* ]と[ ? ]です。

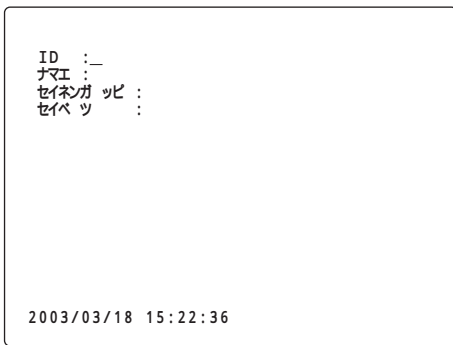
\* : その位置から後ろが何であってもマッチします。

例) 3で始まるIDを検索したい 「3\*」と入力する。

? : 1つの文字の代わりになります。

例) 1111か1121か忘れた 「11?1」を入力する。

**1** アイドル状態で [ ID ] ボタンを押します。  
ID入力待ち画面になります。

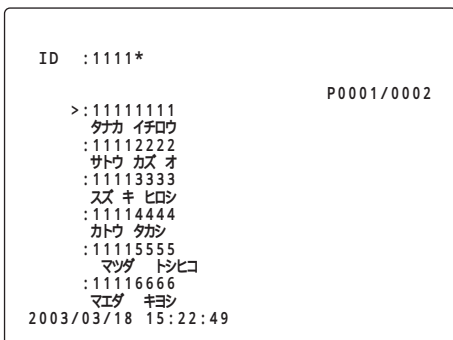


**2** ワイルドカードを使ってIDを入力し、[ 検索開始 ] ボタンを押します。

- 何もしらずに [ 検索開始 ] ボタンを押すと、そのディスクに録画したIDをすべてリストすることができます。
- ID以外の名前、生年月日、性別を検索条件として指定することはできません。

条件にマッチしたすべてのIDが最新の検査から順に表示されます。

(下図は「1111\*」と入力した場合の例です。)



**3** [ ] ボタン / [ ] ボタンで、検索したいIDに ▶ マークを移動し、[ 停止/ENT ] ボタンまたは [ 検索開始 ] ボタンを押します。

選択したIDの検査日のリストが新しい順にモニターに表示されます。

これ以降の手順は前ページの手順3以降と同じです。

# 日付で検索する

まず検査日を指定し、つぎにその日に検査したIDのリストから希望のIDを選択して検索します。

1 アイドル状態で [ 日付 ] ボタンを押します。  
日付入力待ち画面になります。  
(最初は今日の日付が表示されています。)

モニター

```
DATE: 2003/03/18  
  
  
  
2003/03/18 15:22:40
```

リモコン

```
DATE:  
2003/03/18
```

2 希望の日付を入力し、[ 検索開始 ] ボタンを押します。  
日付を入力するには [ ◀ ] ボタン、[ ▶ ] ボタンでカーソルを移動し、数字ボタンで数値を変更します。

指定した日に検査したIDのリストが古い順(当日の検査の順)にモニターに表示されます。

同一のIDで複数の検査がある場合はそれらが重複して表示されます。

3 [ ] ボタン / [ ] ボタンで、再生したいIDに▶マークを移動し、[ 停止/ENT ] ボタンまたは [ 検索開始 ] ボタンを押します。

```
DATE: 2003/03/18  
  
P0001/0002  
  
>: 11111111  
タカ イロウ  
: 22222222  
サウ カズ オ  
: 33333333  
スズ キヒロシ  
: 44444444  
カウ タカ  
: 55555555  
マツダ トシヒコ  
: 66666666  
マエダ キヨシ  
2003/03/18 15:22:49
```

```
ID:  
11111111  
  
P0001/0002
```

モニター画面には6件まで表示されます。7件以上ある場合は [ 再生/ページ送り ] ボタンでページを送り、[ 逆再生/ページ戻し ] ボタンで前のページに戻ることができます。

選択した検査の最初の画像が静止画で表示されます。

```
19601215 M 0001/0003  
タカ イロウ SP  
11111111  
2003/03/18 15:20:36 00000/000065
```

```
11111111  
  
PSE 90フン
```

モニターの文字情報の量は [ 文字表示 ] ボタンで3段階に切り替えられます。

4 [ ▶ ] ボタンを押して再生します。

```
19601215 M 0001/0003  
タカ イロウ SP  
11111111  
2003/03/18 15:20:38 00002/000065 ▶
```

```
11111111  
  
FWD 90フン
```

5 再生を終えるには [ 検索終了 ] ボタンを押します。  
アイドル状態に戻ります。

# 日付で検索する

## 日付が不明のときは

検索したい検査日が不明のときは、“ワイルドカード”を使ってあいまい検索をすることができます。

使えるワイルドカードは[ \* ]と[ ? ]です。

\* : その位置から後ろが何であってもマッチします。

例) 2003年に検査したすべての日付から検索したい  
「2003/\*」と入力する。

? : 1つの文字の代わりになります。

例) 2003年3月上旬だったが、何日か忘れた  
「2003/03/0?」と入力する。

1 アイドル状態で[ 日付 ] ボタンを押します。  
日付入力待ち画面になります。

2 ワイルドカードを使って入力し、[ 検索開始 ] ボタンを押します。  
条件にマッチしたすべての日付が表示されます。  
(下図は「2003/\*」と入力した場合の例です。)

```
DATE:2003/*
P0001/0002
>:2003/03/18 15:20:36
:2003/03/15 10:18:58
:2003/03/10 14:20:14
:2003/03/05 15:04:34
:2003/02/25 13:32:09
:2003/02/18 14:45:26
2003/03/18 15:22:49
```

3 [ ] ボタン / [ ] ボタンで、検索したい日付に ▶マークを移動し、[ 停止/ENT ] ボタンまたは [ 検索開始 ] ボタンを押します。  
選択した日に検査したIDのリストが古い順にモニターに表示されます。

これ以降の手順は前ページの手順3以降と同じです。

# 最新の画像を検索する

全検査の履歴の中から希望のものを選択します。最新の検査を再生したいときに便利です。

1 アイドル状態で [ 検索開始 ] ボタンを押します。

全検査の履歴が新しい順にモニターに表示されます。

```
サインケンサジ ユニリスト
P0001/0002
>:11111111
タカ イチロウ
:22222222
サトウ カズ オ
:33333333
スズ キヒロシ
:44444444
カトウ タカシ
:55555555
マツダ トシヒコ
:11111111
タカ イチロウ
2003/03/18 15:22:49
```

このリストは“検査”の履歴ですので、同一のIDで複数の検査がある場合はそのすべてが重複して表示されます。

モニター画面には6件まで表示されます。7件以上ある場合は [ 再生/ページ送り ] ボタンでページを送り、[ 逆再生/ページ戻し ] ボタンで前のページに戻ることができます。

2 [ ] ボタン / [ ] ボタンで、再生したい行に ▶マークを移動し、[ 停止/ENT ] ボタンまたは [ 検索開始 ] ボタンを押します。

選択した検査の最初の画像が静止画で表示されます。

```
19601215 M 0001/0003
タカ イチロウ SP
11111111
2003/03/18 15:20:36 00000/000065
```

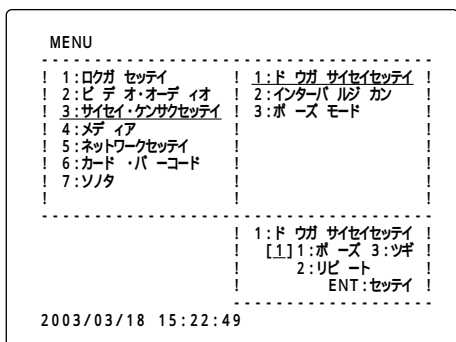
モニターの文字情報の量は [ 文字表示 ] ボタンで3段階に切り替えられます。

3 [ ▶ ] ボタンを押して再生します。

4 再生を終えるには [ 検索終了 ] ボタンを押します。  
アイドル状態に戻ります。

# 再生動作について

ひとつの画像ファイルの再生が終わってからの動作はメニューの『3：サイセイ・ケンサクセツテイ』の『1：ドウガサイセイセツテイ』の設定で決まります。



**ポーズ：** その画像の最後でポーズ（静止画）になる。

**リピート：** 同じ画像を最初からくり返し再生する。

**ツギ：** 同じ検査の中の次の画像を再生する。その検査の中の最終画像の再生が終わると、そこでポーズになる。

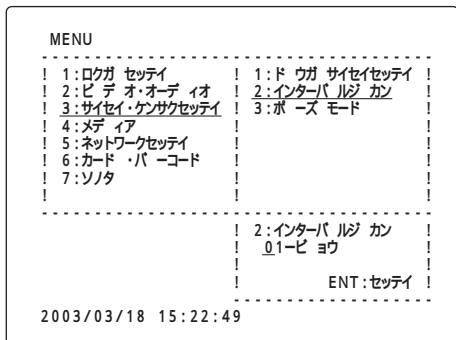
## インターバル時間

上記の設定で「ツギ」を選択した場合は、ひとつの画像が終わってから次の画像が始まるまでの間に、前の画像の最後でポーズ（静止画）になります。このポーズしている時間を設定することができます。

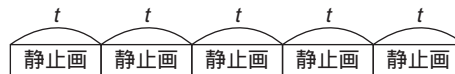


$t$  = インターバル時間

設定は同じメニューの『インターバルジカン』で行います。



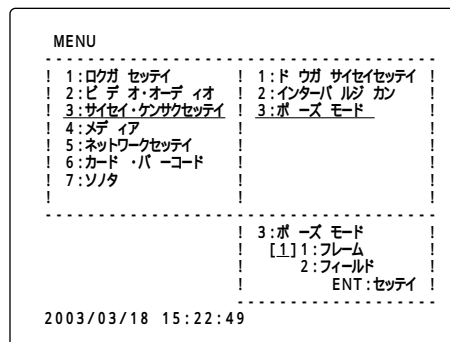
1コマばかり録画した検査の場合は、その1コマずつをここで設定した時間でつぎつぎに切り替えて再生します。



$t$  = インターバル時間

## 静止画のチラつきが気になったら

動画の再生を一時停止したときに静止画像がチラつくことがあります。このチラつきは同じメニューの『ポーズモード』の設定を「フィールド」に変更することにより解消できます。ただし、静止画の画質が粗くなります。



メニューの『3：サイセイ・ケンサクセツテイ』の設定は再生ポーズ状態で [メニュー] ボタンを押すことにより変更することができます。

# いろいろな再生

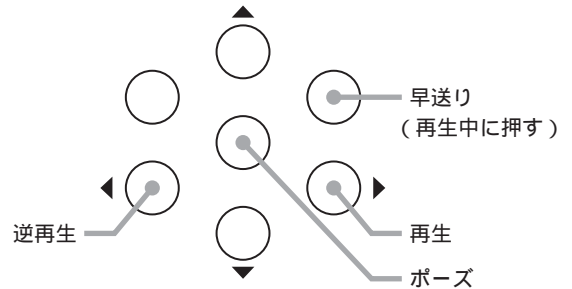
検索すると先頭の画像が静止画で表示されます。そこからの操作は以下のように行います。

## 再生 / 逆再生

再生を始めるには▶ボタンを押します。  
逆方向に再生するには◀ボタンを押します。  
(逆方向の再生速度は順方向の場合よりやや遅くなります。)

## 早送り

早送りするには再生中に[スピード再生]ボタンを押します。早送りに中にさらに押しと速度が3段階に変わり、それに応じて画面右下の表示が▶1 ▶2 ▶3 ▶1と変わります。(読み出しが追いつかない時は一瞬静止画になります。また、逆方向には早送りができません。)

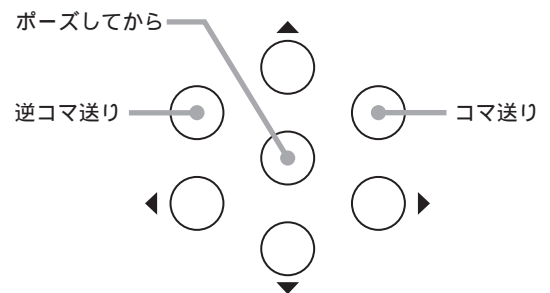


## ポーズ (静止画)

今見ているところで止めるには[停止/ENT]ボタンを押します。

## コマ送り / スロー再生

コマ送りするには、ポーズしてから[スピード再生]ボタンを押します。押すたびに1コマずつ進みます。  
ボタンを約1秒押しとスロー再生になります。スロー再生になってから短く押しと、押すたびに速度が4段階に変わり、それに応じて画面右下の表示が▶S1 ▶S2 ▶S3 ▶S4 ▶S1と変わります。

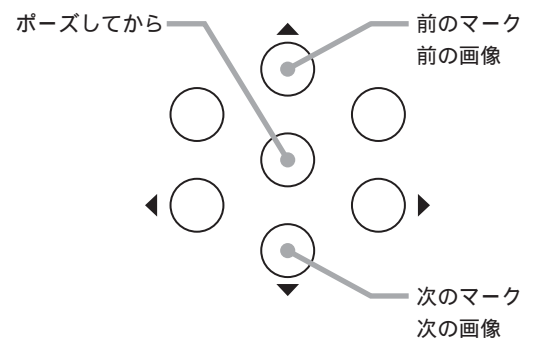


逆方向にコマ送りするには、ポーズしてから[スピード逆再生]ボタンを押します。押すたびに1コマずつ戻ります。  
ボタンを約1秒押しと逆方向のスロー再生になります。スロー再生になってから短く押しと、押すたびに速くなったり遅くなったりします。それに応じて画面右下の表示が◀S1 ◀S2と切り替わります。

## 前後のマーク / 画像にジャンプ

### 次のマークまたは画像にジャンプする

ポーズしてから▶ボタンを押します。再生中の画像の今の位置より後ろにマークがあれば、そのうちで一番近いマークにジャンプします。マークがなければ同じ検査の次の画像の先頭にジャンプします。▶ボタンを約1秒押しと、マークをとばして次の画像の先頭にジャンプします。ジャンプ後はそこでポーズになります。



### 前のマークまたは画像にジャンプする

ポーズしてから◀ボタンを押します。再生中の画像の今の位置より前にマークがあれば、そのうちで一番近いマークにジャンプします。マークがなければ同じ検査の前の画像の先頭にジャンプします。▶ボタンを約1秒押しと、マークをとばして前の画像の先頭にジャンプします。ジャンプ後はそこでポーズになります。

### 今の画像の先頭に戻る

ポーズしてからふたたび[停止/ENT]ボタンを約1秒押しします。

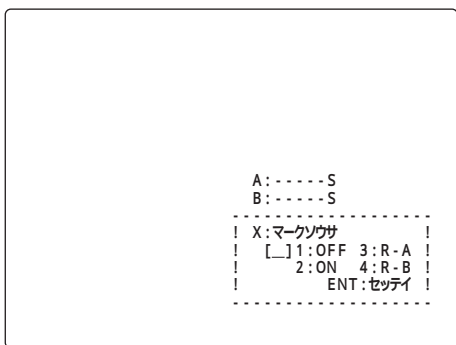
# 再生のとき便利です

## 再生時にマークをつける / 消す

再生時に、録画時につけたマークを消したり、マークを追加したりすることができます。録画時は連続録画の場合しかマークをつけられません。再生時はワンショット録画で録画した画像にもマークをつけられます。(書き込み禁止にしたディスクに対してはマークの追加・削除はできません。)

- 1 マークを追加する場合は再生中に、追加したい位置で [ 停止/ENT ] ボタンを押し、つぎに [ マーク ] ボタンを押します。  
マークを消す場合はそのマークにジャンプして [ マーク ] ボタンを押します。

モニターに下のように表示されます。



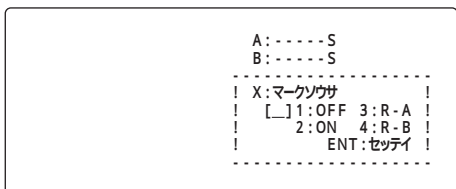
- 2 マークを追加する場合は [ 2 ] ボタンを押してから [ 停止/ENT ] ボタンを押します。  
マークを消す場合は [ 1 ] ボタンを押してから [ 停止/ENT ] ボタンを押します。

マークが追加または削除され、元の画面に戻ります。

## 任意の2点間をリピートする

ひとつの画像の任意の2点にマークをつけ、その間をくり返し再生することができます。

- 1 再生中に、リピート再生の始点としたい位置で [ 停止/ENT ] ボタンを押し、つぎに [ マーク ] ボタンを押します。モニターに下のように表示されます。

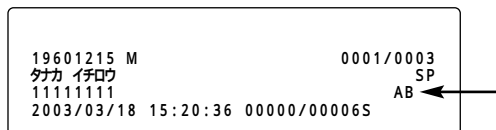


- 2 [ 3 ] ボタンを押し、[ 停止/ENT ] ボタンを押します。元の画面に戻ります。

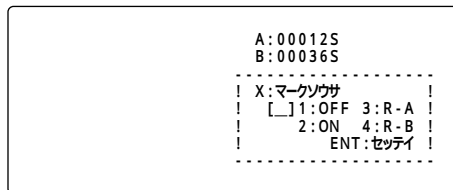
- 3 リピート再生の終点としたい位置まで再生して [ 停止/ENT ] ボタンを押し、つぎに [ マーク ] ボタンを押します。

- 4 [ 4 ] ボタンを押し、[ 停止/ENT ] ボタンを押します。元の画面に戻ります。


画面左下に「AB」と表示され、A点、B点が指定されたことを示します。



- ※ A点 / B点の位置を確認するには [ マーク ] ボタンを押します。2点の位置が画像の先頭からの秒数で表示されます。もう一度 [ マーク ] ボタンを押すと再生一時停止状態に戻ります。



- 5 [ ▶ ] ボタンを押して再生すると、指定した2点間をくり返し再生します。

- ※ リピート再生を始めると画面右下に  マークが表示され、[ ▶ ] ボタンと [ 停止/ENT ] ボタン以外は無効になります。

- ※ A点 / B点の位置はディスクには記録されません。他の画像を再生するか、[ 停止/ENT ] ボタンを約1秒押しとクリアされます。

- ※ すでについているマークをA点、B点にすることもできます。マークにジャンプしてから上記の手順で操作してください。

- ※ A点 / B点の位置を変更したいときは、新たにつけ直したい位置でポーズし、上記の手順で変更できます。

- ※ B点が始点、A点が終点になるようにマークをつけてもかまいません。

# 再生のとき便利です

## 画像ファイルを転送する

転送したい画像だけを選んで転送するにはつぎの手順で行います。(自動転送の設定については『設定を変更する』の章をお読みください。p. 41)


- 転送した画像をPCで受信するには付属ソフト“VIEW-FILE Lite”をご利用ください。
- 転送するときはディスクのプロテクトノッチを書き込み許可の方に切り替えてください。転送済みのマークをディスクに記録するためです。書き込み禁止のまま転送しようとすると「LAN ERROR 2」と表示されます。

- 希望の画像を検索します。
- 再生ポーズ状態(画面右下に“||”が表示されている状態)にして[画像転送]ボタンを押します。

本体のTRANSMITランプが点灯し、転送が始まります。転送中は画面の右上に“xx%L”と表示されます。これは転送済みデータの割合を表します。目安として見てください。

- TRANSMITランプの点灯中に電源を切らないでください。もし電源を切ると転送中の画像はサーバーに保存されません。
- TRANSMITランプ点灯中は一切の操作ができません。
- 転送を強制的に中止するには[画像転送]ボタンを約1秒間押してください。

- TRANSMITランプが消灯すると再生ポーズに戻ります。

- 転送済みの画像には再生時に画面の右下にマークが表示されます。

## 動画の一部を転送する

動画の4秒間分だけ切り取って転送することができます。上記の手順で再生ポーズ状態にして、[2]ボタンを約1秒押します。すると、その前後2秒ずつ、合計4秒分の画像が転送されます。

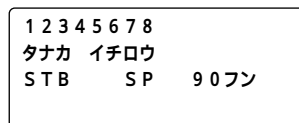
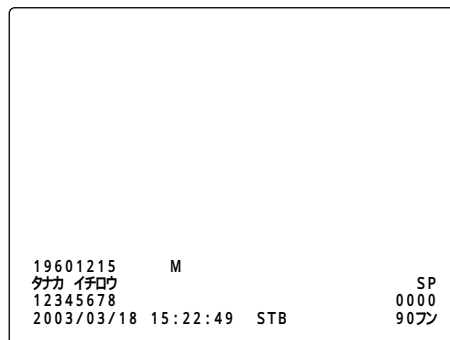
- この場合は転送済みマークはディスクに記録されません。
- 動画の先頭/末尾から2秒以内のポイントでポーズした場合、切り取られる画像は4秒より短くなります。

## 再生中のIDで検査する

再生中の患者のIDを引き継いで再生から検査にうつることができます。

- 再生中に[停止/ENT]ボタンを押してポーズします。
- [検査開始]ボタンを押します。

スタンバイになります。今再生していた患者の情報が表示されています。



- 以後は通常の操作で録画できます。  
[連続録画開始]ボタンまたは[ワンショット録画開始]ボタンを押して録画します。



# 再生のとき便利です

## 患者情報を修正する

再生中の患者の情報を修正することができます。

1 [停止/ENT] ボタンを押して再生をポーズします。

2 [ID] ボタンを押します。

モニター、リモコンにつきのように表示されます。

```
          IDヘンコウガ メンヲ ヒョウジ シマスカ?
          ENT:スル      ID:シナイ

19601215      M      0001/0003
タカ イチロウ      SP
12345678
2003/03/18 15:20:38 00002/00006S
```

```
IDヘンコウガ メンヒョウジ ?
```

3 [停止/ENT] ボタンを押します。

IDを変更しないときは [ID] ボタンを押します。

```
IDヘンコウ
ID :12345678
ナマエ :タカ イチロウ
セイネンガ ヅビ :19601215
セイベ ヅ      :M
```

```
ID :
1 2 3 4 5 6 7 8
```

4 録画前のID入力と同様に、[▶][◀][ ] ボタン

でカーソルを移動し、文字ボタンで修正します。

ID変更をやめるには [ID] ボタンを押します。

この場合は録画前のID入力時とは違って、[停止/ENT] ボタンではカーソルは下の行に移動しません。

5 [停止/ENT] ボタンを押します。

再生ポーズ状態に戻ります。

修正後の患者情報が表示されます。

```
19601215      M      0001/0003
タカ イチロウ      SP
11111111
2003/03/18 15:20:38 00002/00006S
```

## 再生動作の設定を変更する

再生ポーズ状態で再生動作の設定を変更できます。

1 再生ポーズ状態（画面右下に“||”が表示されている状態）で [メニュー] ボタンを押します。

モニター、リモコンにつきのように表示されます。

```
MENU
-----
 1:ド ウガ サイセイセツテイ
 2:インターバルジ カン
 3:サイセイ・ケンサクセツテイ
-----
2003/03/18 15:22:49
```

```
1:ド ウガ サイセイセツテイ
2:インターバルジ カン
3:ポーズ モード
```

設定変更を中止するには [メニュー] ボタンを押します。

2 これ以降の操作については『設定を変更する』の章をお読みください。(p. 39)

# PCで再生する

## 準備

本機でディスクをフォーマットすると検索ソフト“DvFinder”が書き込まれます。このDvFinderにより、本機で録画したディスクをパソコンのドライブに入れて検索することができます。

### 必要なシステム

CPU : Pentium III 450 MHz以上  
OS : Windows 98 SE / ME / 2000 / XP  
メモリー : 128 MB以上、256 MB以上推奨  
ディスプレイ : 解像度800 × 600以上、1024 × 768推奨

### 準備

- 1 付属のユーリードシステムズ社「VideoStudio」をパソコンにインストールしてください。  
VideoStudioはMPEG-2ファイルをPCで再生するために必要です。VideoStudioのインストール方法など詳細についてはVideoStudioに付属の説明書をお読みください。
- 2 拡張子.mpgのファイルとWindows Media Playerとを以下の手順で関連づけてください。

Media Playerを起動し、[ツール]メニュー [オプション] [ファイルの種類] タブの順にクリックします。



(上図はWindows Media Player 9のもので。)

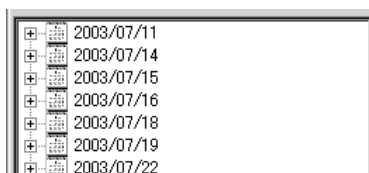
[ムービーファイル (.mpeg)] のチェックボックスにマークを入れます。(グレー地にチェックマークがついている場合は、白地にチェックマークとなるまでクリックしてください。)最後に [OK] をクリックします。

## 検索・再生する

- 1 DV-700で録画したディスクをライトプロテクトしてPCのDVD-RAMドライブに入れます。
- 2 ディスクの中のDvFinder.exeをダブルクリックします。



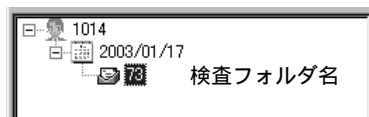
起動時は画面左に、そのディスクに記録した全検査の日付のリストが表示されています。



- 3 [並べ替え] [ID検索] [日付検索] に検索条件を指定し、[検索] をクリックするか、Enterキーを押します。(検索項目の指定のしかた → 次ページ)

画面左のリストが絞り込まれ、[並べ替え] で指定した順に表示されます。

- 4 左のリストの [ + ] をクリックして展開し、希望の検査をクリックします。



その検査の画像の一覧が画面右に表示されます。

記録開始日時	記録時間	動画番号	サイズ
2003/07/26_18:45:29	00:00:09	716	3120 KB
2003/07/26_18:45:43	00:00:13	717	4420 KB
2003/07/26_18:46:01	00:00:11	718	3364 KB

- 5 右のリストから希望の画像をダブルクリックします。  
Media Playerが起動し、画像を再生することができます。

一度に複数の画像をMedia Playerに渡すには、Ctrlキーを押しながら希望の画像をクリックし、その上で右クリックすると現れるメニューから [Windows Media Player から開く] をクリックします。

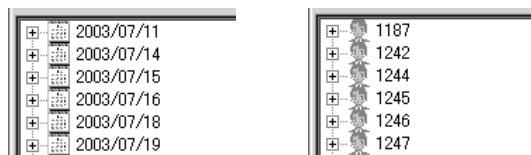
VideoStudio以外のDVD再生ソフトがインストールされていると、再生できないことがあります。その場合は、VideoStudio以外のソフトをアンインストールしてください。

# PCで再生する

## 検索項目の指定のしかた

### 【並べ替え】

画面左のリストに日付順に表示するか、ID順に表示するかを選択します。



【日付】順

【ID】順

さらにそれぞれの場合に、昇順に表示するか降順に表示するかを【並べ替え】メニューで指定できます。



### 【現在のディスク以外から検索するとき】

【ファイル】メニューから【フォルダ変更】を選択します。【フォルダを選択してください】のダイアログが現れますので、希望のフォルダを指定してください。

### 【画像ファイルを保存する】

画面右のリストから希望の画像をクリックし、その上で右クリックして現れるメニューから【名前をつけて保存する】をクリックします。すると、保存のダイアログが現れますので、ファイル名と保存先を指定してください。



### 【ID検索】

IDを指定して検索します。  
をクリックすると、そのディスクに記録された全IDのリストが現れます。

このフィールドには本体での検索と同様に“ワイルドカード”が使えます。使えるワイルドカードは半角の【\*】と【?】です。（起動時は【\*】が指定されています。）

- \* : その位置から後ろが何であってもマッチします。
- ? : 1つの文字の代わりになります。

例) “2”で始まるIDをすべて検索したい  
「2\*」と入力する。

例) すべてのIDを検索したい  
「\*」と入力する。または、このフィールドを空白にします。

### 【日付検索】

検査の日付を指定して検索します。日付の指定のしかたは4種類あります。

#### 【全て】

そのディスクに記録した検査の全ての日付が検索対象になります。

#### 【本日分】

今日の検査だけが検索対象になります。

#### 【過去 日間】

指定した日数分だけ過去の検査が検索対象になります。

#### 【期間指定】

指定した期間の検査が検索対象になります。



この日から この日まで

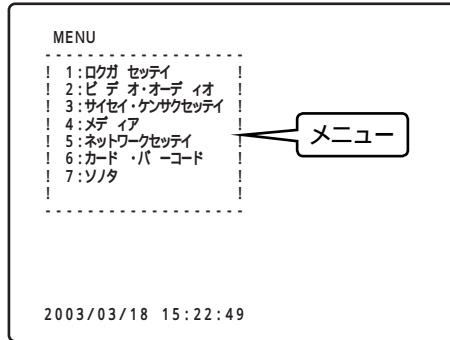
# 設定のしかた

1 電源投入直後、またはディスク挿入直後、アイドル状態で [メニュー] ボタンを押します。

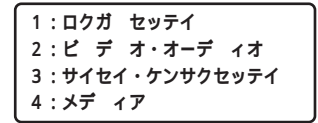
モニター、リモコンにメニューが現れます。

元の画面に戻るには、もう一度 [メニュー] ボタンを押します。

モニター



リモコン



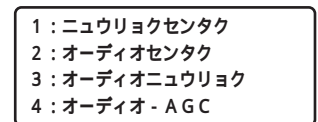
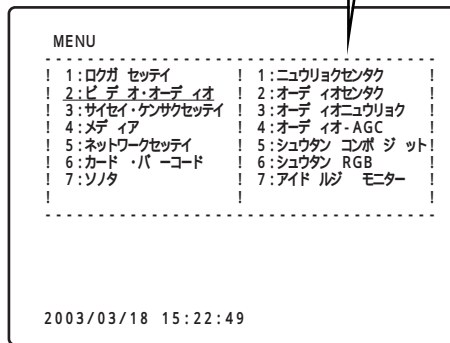
リモコンの表示は ボタン、または ボタンで 5 ~ 7 番のメニューに切り替えられます。

2 [1] ~ [7] の数字ボタンを押してメニューから設定項目を選択します。

選択した項目が反転表示になり (本書では下線で表します) サブメニューが現れます。

メニュー画面に戻るには [メニュー] ボタンを押します。

サブメニュー



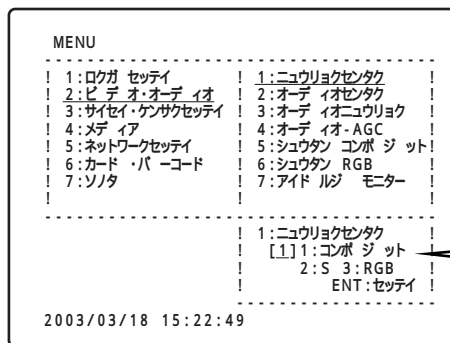
サブメニューが 5 行以上ある場合、リモコンの表示は ボタン、または ボタンで切り替えられます。

3 数字ボタンを押してサブメニューから設定項目を選択します。

選択した項目が反転表示になり、選択肢が現れます。

設定を変更せずにサブメニューに戻るには [メニュー] ボタンを押します。

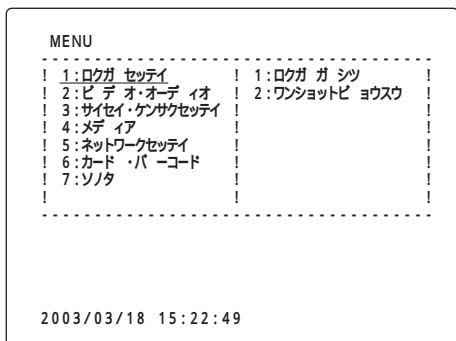
4 設定値を数字ボタンで選択し、[停止/ENT] ボタンを押して確定します。



5 [メニュー] ボタンを 2 回押して設定メニューを終了します。

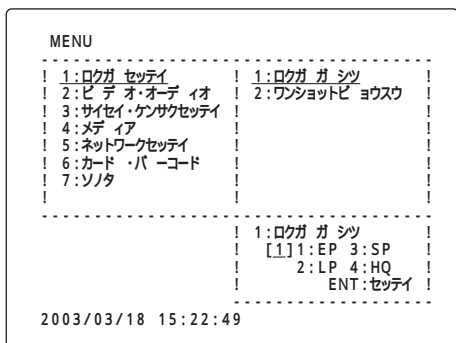
# 画質・録画時間の設定

『1：ロクガセツテイ』では録画画質と、ワンショット録画時間を設定します。この設定は検査中に変更できません。



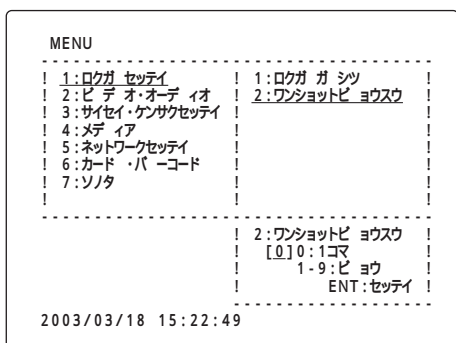
以下、サブメニューごとに説明します。

## 1：ロクガガシツ



録画画質をEP（約5時間録画）、LP（約3時間）、SP（約2時間）、HQ（約1時間）から選択します。  
（出荷時：SP）

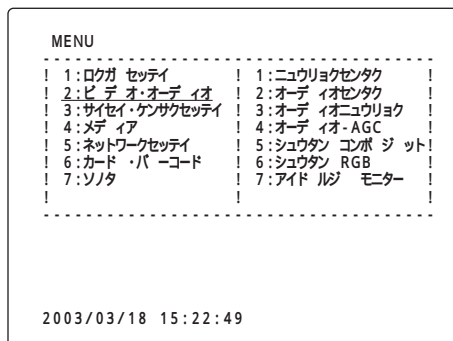
## 2：ワンショットビョウスウ



ワンショット録画の録画時間を1～9秒の範囲で設定します。1コマだけ録画するには[0]を選択します。  
（出荷時：0）

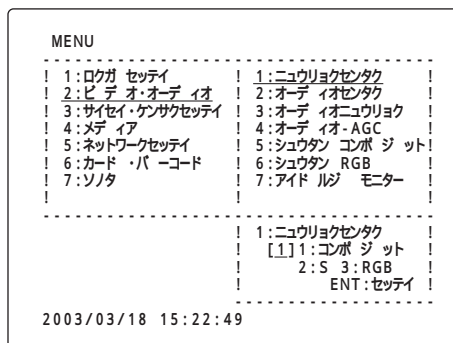
# 入力信号にかかわる設定

『2：ビデオ・オーディオ』では映像・音声入力信号にかかわる設定をします。この設定は検査中に変更できません。



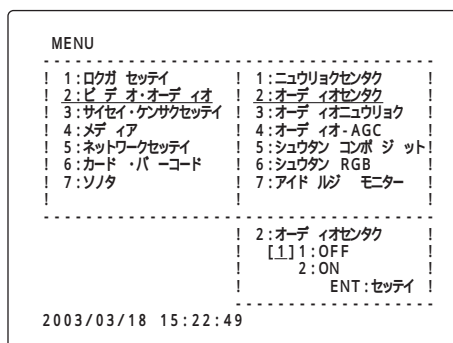
以下、サブメニューごとに説明します。

## 1：ニューリョクセンタク



映像入力信号をコンボジット（VIDEOコネクタ）/S（S-VIDEOコネクタ）/RGB（RGBコネクタ）から選択します。（出荷時：コンボジット）

## 2：オーディオセンタク



音声を録音する（ON）か、しない（OFF）かを設定します。  
（出荷時：OFF）

※ 音声を録音してもしなくても画像ファイルのサイズはあまり変わりません。

# 入力信号にかかわる設定（つづき）

## 3：オーディオニューリョク

MENU	
1:ロクガ セッテイ	1:ニューリョクセンタク
2:ビデ オ・オーディオ	2:オーディオセンタク
3:サイセイ・ケンサクセッテイ	3:オーディオニューリョク
4:メデ イア	4:オーディオ-AGC
5:ネットワークセッテイ	5:シュウタン コンボ ジ ット
6:カード・パ ーコード	6:シュウタン RGB
7:ソノタ	7:アイドルジ モニター
-----	
	3:オーディオニューリョク
	[1]1:ライン
	2:マイク
	ENT:セッテイ
-----	
2003/03/18 15:22:49	

音声信号の入力レベルをライン / マイクから選択します。  
(出荷時：ライン)

## 6：シュウタン RGB

MENU	
1:ロクガ セッテイ	1:ニューリョクセンタク
2:ビデ オ・オーディオ	2:オーディオセンタク
3:サイセイ・ケンサクセッテイ	3:オーディオニューリョク
4:メデ イア	4:オーディオ-AGC
5:ネットワークセッテイ	5:シュウタン コンボ ジ ット
6:カード・パ ーコード	6:シュウタン RGB
7:ソノタ	7:アイドルジ モニター
-----	
	6:シュウタン RGB
	[1]1:OFF
	2:ON
	ENT:セッテイ
-----	
2003/03/18 15:22:49	

RGB入力コネクタを終端する (ON) か、しない (OFF) かを設定します。(出荷時：ON)

## 4：オーディオ-AGC

MENU	
1:ロクガ セッテイ	1:ニューリョクセンタク
2:ビデ オ・オーディオ	2:オーディオセンタク
3:サイセイ・ケンサクセッテイ	3:オーディオニューリョク
4:メデ イア	4:オーディオ-AGC
5:ネットワークセッテイ	5:シュウタン コンボ ジ ット
6:カード・パ ーコード	6:シュウタン RGB
7:ソノタ	7:アイドルジ モニター
-----	
	4:オーディオ-AGC
	[1]1:OFF
	2:ON
	ENT:セッテイ
-----	
2003/03/18 15:22:49	

音声入力信号にAGC (自動ゲイン調整) をかける (ON) か、かけない (OFF) かを設定します。(出荷時：ON)

## 7：アイドルジモニター

MENU	
1:ロクガ セッテイ	1:ニューリョクセンタク
2:ビデ オ・オーディオ	2:オーディオセンタク
3:サイセイ・ケンサクセッテイ	3:オーディオニューリョク
4:メデ イア	4:オーディオ-AGC
5:ネットワークセッテイ	5:シュウタン コンボ ジ ット
6:カード・パ ーコード	6:シュウタン RGB
7:ソノタ	7:アイドルジ モニター
-----	
	7:アイドルジ モニター
	[1]1:ニューリョク スルー
	2:ブルーバック
	ENT:セッテイ
-----	
2003/03/18 15:22:49	

アイドル状態の時に映像出力端子に入力信号を出力する (ニューリョクスルー) か、出力せずに青一色にする (ブルーバック) かを設定します。  
(出荷時：ニューリョクスルー)

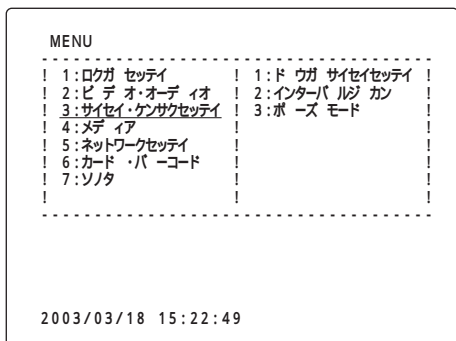
## 5：シュウタン コンボジット

MENU	
1:ロクガ セッテイ	1:ニューリョクセンタク
2:ビデ オ・オーディオ	2:オーディオセンタク
3:サイセイ・ケンサクセッテイ	3:オーディオニューリョク
4:メデ イア	4:オーディオ-AGC
5:ネットワークセッテイ	5:シュウタン コンボ ジ ット
6:カード・パ ーコード	6:シュウタン RGB
7:ソノタ	7:アイドルジ モニター
-----	
	5:シュウタン コンボ ジ ット
	[1]1:OFF
	2:ON
	ENT:セッテイ
-----	
2003/03/18 15:22:49	

コンボジット (VIDEO) 入力コネクタを終端する (ON) か、しない (OFF) かを設定します。(出荷時：ON)

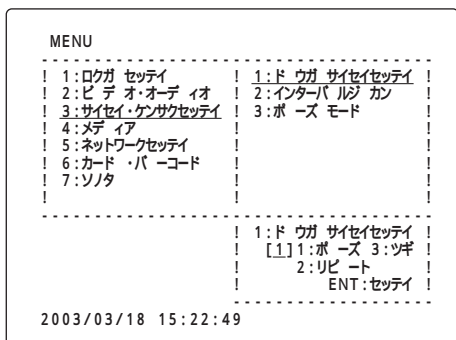
# 再生動作の設定

『3：サイセイ・ケンサクセツテイ』では再生動作にかかわる設定をします。この設定は再生中に変更できます。



以下、サブメニューごとに説明します。

## 1：ドウガサイセイセツテイ



1つの画像の再生が終わった時の動作を設定します。

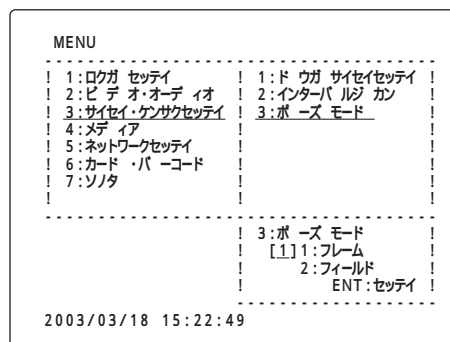
- ポーズ： 画像の最後で停止します。
  - リピート： ふたたび同じ画像を再生します。
  - ツギ： 次の画像を再生します。
- (出荷時：ポーズ)

## 2：インターバルジカン



左記の『ドウガサイセイセツテイ』で「ツギ」を選択した場合は、ひとつの画像が終わってから次の画像が始まるまでの間に、前の画像の最後でポーズ（静止画）になります。ここでは、そのポーズの時間を設定します。  
(出荷時：0.1)

## 3：ポーズモード



動画の再生を一時停止したときに静止画像がチラつくことがあります。このチラつきは『ポーズモード』の設定を「フィールド」に変更することにより解消できます。ただし、静止画の画質が粗くなります。再生中に設定を変更した場合は、次に一時停止したときから変更が反映されます。

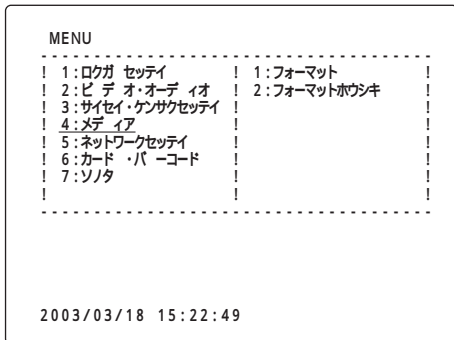
- フレーム： 静止画をフレーム画像で表示します。
  - フィールド： 静止画をフィールド画像で表示します。
- (出荷時：フレーム)

### フ レームとフィ ールド

1枚の画像（フレーム）は1本おきの飛越し走査を2回行うことによって作られます。この1回分の飛越し走査によってできる画像を「フィールド」と呼びます。

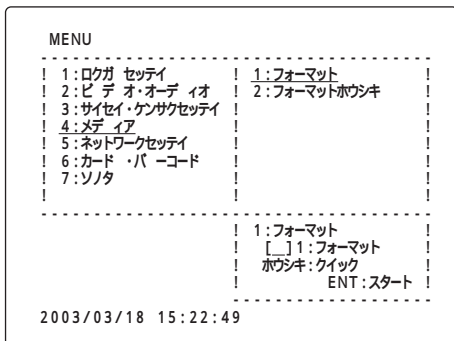
# フォーマットの操作

『4：メディア』ではディスクのフォーマットの実行と、フォーマット方式の選択を行います。



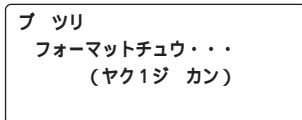
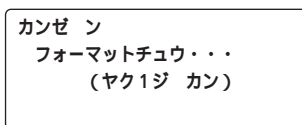
以下、サブメニューごとに説明します。

## 1：フォーマット

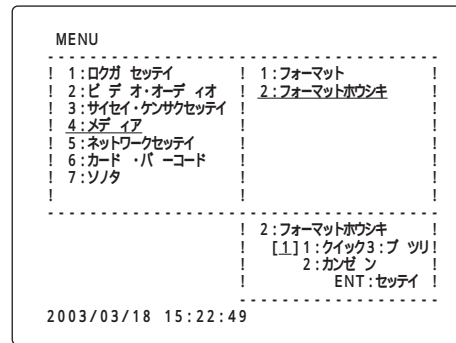


フォーマットを実行します。

次の「フォーマットハウシキ」で「カンゼン」または「ブツリ」を選択した場合、フォーマット実行中は下のように表示されます。



## 2：フォーマットハウシキ



フォーマット方式を選択します。

クイック：約10秒でフォーマットできます。

カンゼン：データを完全に消去できますが、約1時間かかります。途中で止められませんのでご注意ください。

ブツリ：エラーが頻発するディスクはこの方式でフォーマットしてみてください。この方式も約1時間かかり、途中で止められません。

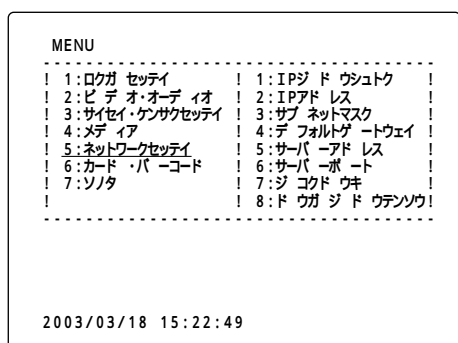
(出荷時：クイック)

※「ブツリ」方式によるフォーマットが停電などにより中断した場合は、次にそのディスクを入れると「フォーマットエラーDISC」と表示されます。そのディスクはあらためてフォーマットしないと使えません。その場合はどのフォーマット方式を選択しても自動的に「ブツリ」方式のフォーマット動作になります。




# 画像転送の設定

『5：ネットワークセッテイ』は画像をネットワーク転送するために必要な設定です。この設定が済むまでネットワークに接続しないでください。



ネットワークの設定・接続についてはネットワーク管理者の指示に従ってください。

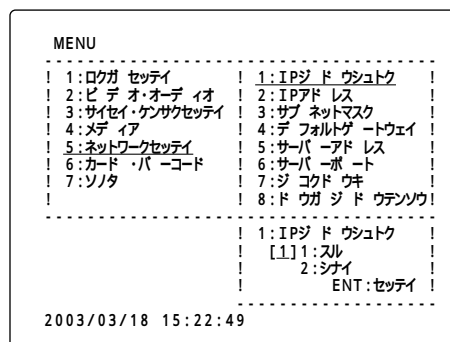
転送した画像をPCで受信するには付属ソフト“VIEW-FILE Lite”をご利用ください。

- 転送するときはディスクのプロテクトノッチを書き込み許可の方に切り替えてください。転送済みのマークをディスクに記録するためです。書き込み禁止のまま転送しようとすると「LAN ERROR 2」と表示されます。
- 自動転送は録画が終わるたびに行われます。転送中は画面の右上に“L”が表示されます。転送済みの画像には再生時に画面の右下にマークが表示されます。
- TRANSMITランプの点灯中に電源を切らないでください。もし電源を切ると転送中の画像はサーバーに保存されません。
- 転送を強制的に中止するにはアイドル状態で [ 画像転送 ] ボタンを約 1 秒間押してください。
- LANの障害などのために自動転送できなかった画像は、電源再投入時に自動的に転送されます。

以下、サブメニューごとに説明します。

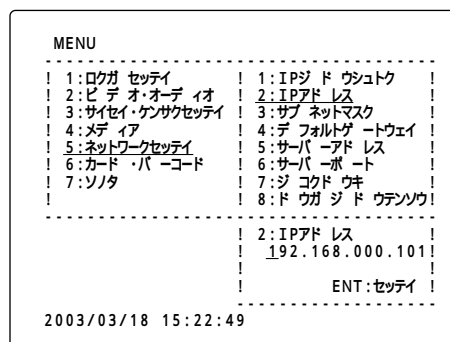
- 1～4番の設定は電源を入れ直してから有効になります。

## 1：IPジドウシュトク



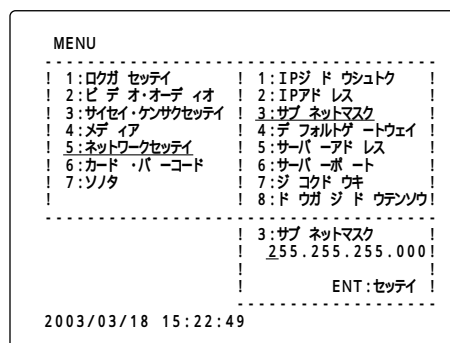
本機のIPアドレスをDHCPサーバーから自動取得する（スル）か、しない（シナイ）かを選択します。（スル）を選択してIPアドレスを自動取得すると、以下の2～4番の設定は変更できなくなります。（出荷時：シナイ）

## 2：IPアドレス



本機のIPアドレスを自動取得しない場合にIPアドレスを設定します。IPアドレスを自動取得した場合、ここには取得したアドレスが表示され、変更できません。（出荷時：上図のとおり）

## 3：サブネットマスク



IPアドレスを自動取得しない場合にサブネットマスクを設定します。自動取得した場合、ここには取得したサブネットマスクが表示され、変更できません。（出荷時：上図のとおり）

# 画像転送の設定（つづき）

## 4：デフォルトゲートウェイ

MENU	
1:ロクガ セッテイ	1:IPジ ド ウシュトク
2:ビ デ オ・オーデ イオ	2:IPアド レス
3:サイセイ・ケンサクセッテイ	3:サブ ネットマスク
4:メデア	4:デ フォルトゲ ートウェイ
5:ネットワークセッテイ	5:サーバ ード レス
6:カード ・バ ーコード	6:サーバ ーポ ート
7:ソノタ	7:ジ コクド ウキ
	8:ド ウガ ジド ウテンソウ!
	4:デ フォルトゲ ートウェイ
	000.000.000.000!
	ENT:セッテイ!

2003/03/18 15:22:49

IPアドレスを自動取得しない場合にデフォルトゲートウェイを設定します。自動取得した場合、ここには取得したデフォルトゲートウェイが表示され、変更できません。（出荷時：上図のとおり）

## 5：サーバアドレス

MENU	
1:ロクガ セッテイ	1:IPジ ド ウシュトク
2:ビ デ オ・オーデ イオ	2:IPアド レス
3:サイセイ・ケンサクセッテイ	3:サブ ネットマスク
4:メデア	4:デ フォルトゲ ートウェイ
5:ネットワークセッテイ	5:サーバ ード レス
6:カード ・バ ーコード	6:サーバ ーポ ート
7:ソノタ	7:ジ コクド ウキ
	8:ド ウガ ジド ウテンソウ!
	5:サーバ ード レス
	192.168.000.151!
	ENT:セッテイ!

2003/03/18 15:22:49

転送先のサーバーのIPアドレスを設定します。（出荷時：上図のとおり）

## 6：サーバーポート

MENU	
1:ロクガ セッテイ	1:IPジ ド ウシュトク
2:ビ デ オ・オーデ イオ	2:IPアド レス
3:サイセイ・ケンサクセッテイ	3:サブ ネットマスク
4:メデア	4:デ フォルトゲ ートウェイ
5:ネットワークセッテイ	5:サーバ ード レス
6:カード ・バ ーコード	6:サーバ ーポ ート
7:ソノタ	7:ジ コクド ウキ
	8:ド ウガ ジド ウテンソウ!
	6:サーバ ーポ ート
	00001
	ENT:セッテイ!

2003/03/18 15:22:49

転送先のサーバーのポートを指定します。（出荷時：10050）

## 7：ジコクドウキ

MENU	
1:ロクガ セッテイ	1:IPジ ド ウシュトク
2:ビ デ オ・オーデ イオ	2:IPアド レス
3:サイセイ・ケンサクセッテイ	3:サブ ネットマスク
4:メデア	4:デ フォルトゲ ートウェイ
5:ネットワークセッテイ	5:サーバ ード レス
6:カード ・バ ーコード	6:サーバ ーポ ート
7:ソノタ	7:ジ コクド ウキ
	8:ド ウガ ジド ウテンソウ!
	7:ジ コクド ウキ
	[1]1:スル
	2:シナイ
	ENT:セッテイ!

2003/03/18 15:22:49


NTP（Network Time Protocol）サーバーに接続する場合に、本機の内蔵時計をNTPサーバーに同期する（スル）か、しない（シナイ）かを設定します。時刻同期を行うのは、LANケーブルを他の動作している機器に接続した時、および本機の電源投入時です。（出荷時：シナイ）

## 8：ドウガジドウテンソウ

MENU	
1:ロクガ セッテイ	1:IPジ ド ウシュトク
2:ビ デ オ・オーデ イオ	2:IPアド レス
3:サイセイ・ケンサクセッテイ	3:サブ ネットマスク
4:メデア	4:デ フォルトゲ ートウェイ
5:ネットワークセッテイ	5:サーバ ード レス
6:カード ・バ ーコード	6:サーバ ーポ ート
7:ソノタ	7:ジ コクド ウキ
	8:ド ウガ ジド ウテンソウ!
	8:ド ウガ ジド ウテンソウ!
	0000MBYTEイナイ
	ENT:セッテイ!

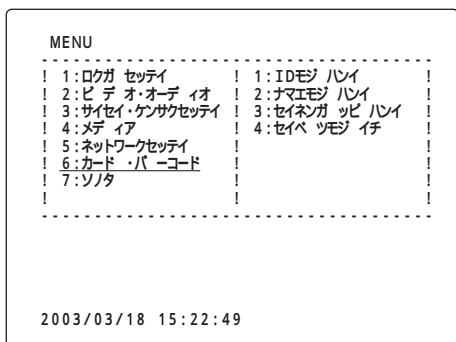
2003/03/18 15:22:49

画像ファイルを自動的に転送する場合、何メガバイトまでの画像の転送を許すかを設定します。自動転送をしない場合は「0000」に設定してください。（出荷時：0000）

自動転送は録画が終わるたびに行われます。転送中は画面の右上に“L”が表示されます。転送済みの画像には再生時に画面の右下にマークが表示されます。

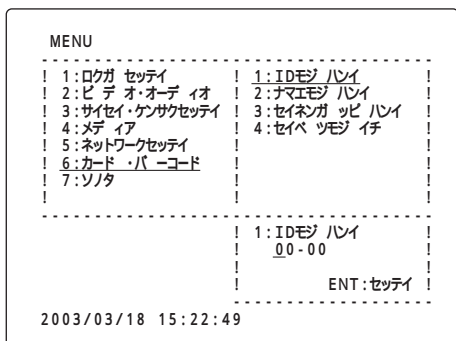
# 磁気カード / バーコードリーダーの設定

『6 : カード・バーコード』は磁気カードリーダー / バーコードリーダーを使う場合の設定です。磁気カード / バーコードに書かれた情報の何バイト目を読み取るかを設定します。



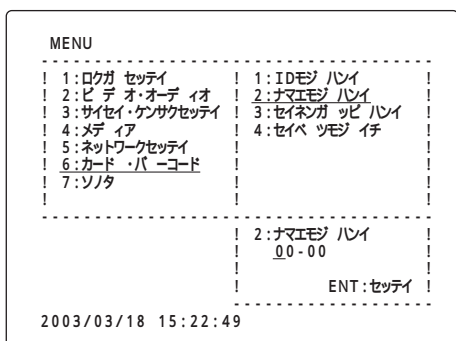
以下、サブメニューごとに説明します。

## 1 : IDモジハンイ



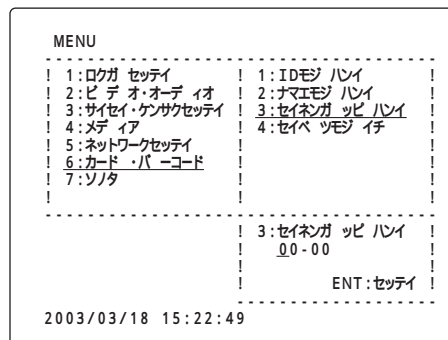
磁気カード / バーコードに書かれた情報の何バイト目から何バイト目までをIDとして読み取るかを設定します。最大で32文字まで読み込めます。開始位置または終了位置のどちらかを“00”とするとIDは読み取りません。その場合、IDは“999999999”になります。  
(出荷時 : 00-00)

## 2 : ナマエモジハンイ



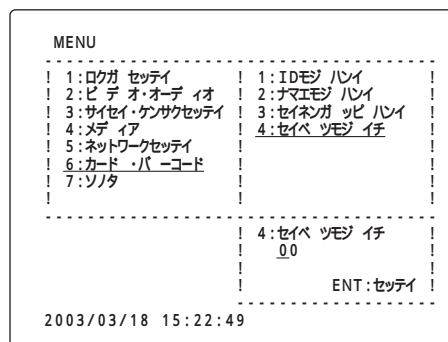
磁気カード / バーコードに書かれた情報の何バイト目から何バイト目までを名前として読み取るかを設定します。最大で32文字まで読み込めます。開始位置または終了位置のどちらかを“00”とすると名前は読み取りません。  
(出荷時 : 00-00)

## 3 : セイネンガ ヅビハンイ



磁気カード / バーコードに書かれた情報の何バイト目から何バイト目までを生年月日として読み取るかを設定します。最大で12文字まで読み込めます。開始位置または終了位置のどちらかを“00”とすると生年月日は読み取りません。  
(出荷時 : 00-00)

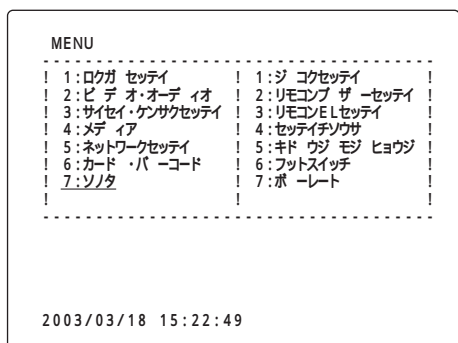
## 4 : セイベツモジイチ



磁気カード / バーコードに書かれた情報の何バイト目(1文字)を性別として読み取るかを設定します。“00”とすると性別は読み取りません。  
(出荷時 : 00)

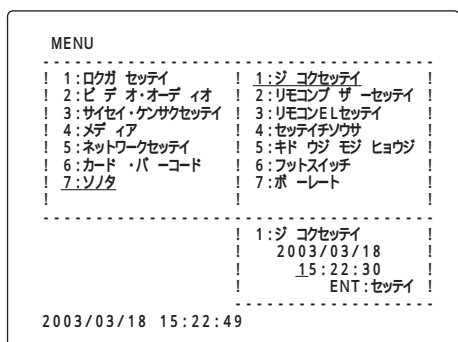
# その他の設定

『7：ソノタ』では内蔵時計、リモコン、設定保存などにかかわる設定をします。



以下、サブメニューごとに説明します。

## 1：ジコクセッテイ



内蔵の時計を合わせます。数字ボタンで日時を直してから、時報に合わせて [ 停止/ENT ] ボタンを押してください。その瞬間に時計が修正されます。

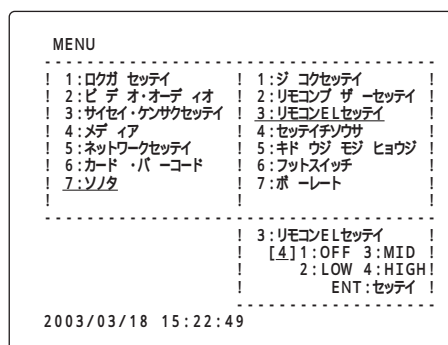
- 本機には内蔵時計を動かすための電池が入っています。この電池の寿命は通常の通電使用状態で約5年です。電池が切れると異常な時刻が表示されます。電池の交換はお客さまにはできませんので、当社のサービス部門にご用命ください。

## 2：リモコンプザーセッテイ



リモコンのプザーを鳴らす (ON) か、鳴らさない (OFF) かを設定します。(出荷時: ON)

## 3：リモコンELセッテイ



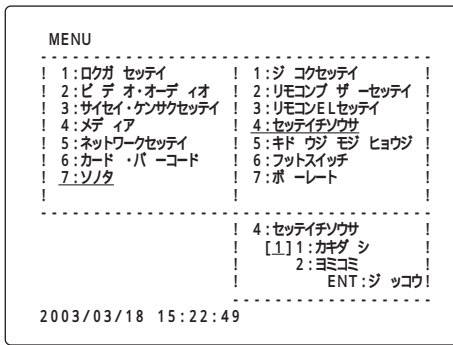
リモコンのボタンは暗い所でも操作できるようにほのかに光らせることができます。ここではその明るさを設定します。

- OFF : パネルの明かりをつけません。
  - LOW : 明るさを弱く設定します。
  - MID : 中位の明るさに設定します。
  - HIGH : 明るさを強く設定します。
- (出荷時: MID)

- リモコンの照明には寿命があり、使用するにつれて暗くなっていきます。

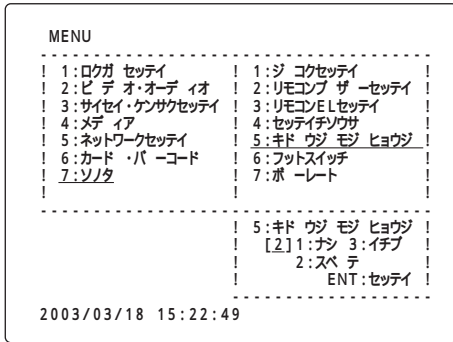
# その他の設定

## 4 : セッテイチソウサ



本機の設定をディスクに書き出すことができます。そのディスクを他のDV-700で読み込むことにより、同じ設定にすることができます。

## 5 : キドウジモジヒョウジ



モニター画面に表示される日付や動作状態などの文字情報は、[文字表示] ボタンで表示したり消したりを切り替えられます。この文字情報を、電源投入直後の状態でどう表示するかを設定します。

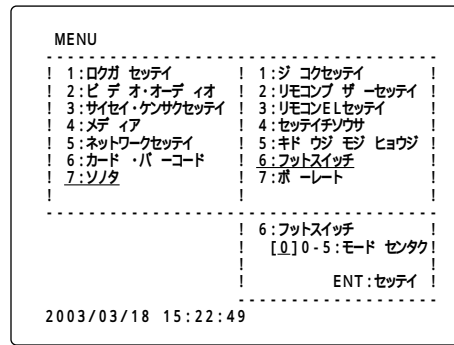
ナシ：何も表示しません。

スベテ：すべての文字を表示します。

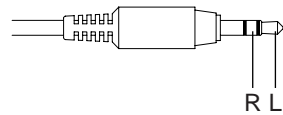
イチブ：下から2行（ID、日時、動作状態）だけを表示します。

（出荷時：スベテ）

## 6 : フットスイッチ

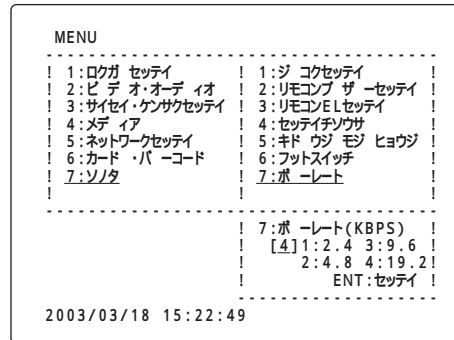


FOOT SWジャックの機能を設定します。設定値とそれに対応する機能については本ページ下の表を参照してください。FOOT SWジャックはステレオミニジャックで、無電圧メーク接点を入力できます。



▼ スタンバイ状態以外の時にフットスイッチの操作で録画しようとする、ブザーが鳴ります。

## 7 : ボーレート



SERIALコネクタを使って通信する際のボーレートを選択します。この設定は電源を入れ直してから有効になります。（出荷時：19.2 Kbps）

【6 : フットスイッチ】の設定値と機能（出荷時：[0]）

設定	機能			
	AジャックのL	AジャックのR	BジャックのL	BジャックのR
[0]	連続録画終了	連続録画開始	マークづけ	ワンショット録画開始
[1]	連続録画開始 / 終了のオルタネート	機能なし	マークづけ	ワンショット録画開始
[2]	連続録画終了	連続録画開始	ワンショット録画開始	マークづけ
[3]	連続録画開始 / 終了のオルタネート	機能なし	ワンショット録画開始	マークづけ
[4]	押し続けている録画	機能なし	マークづけ	ワンショット録画開始
[5]	押し続けている録画	機能なし	ワンショット録画開始	マークづけ

## お手入れ

### ディスクとレンズのクリーニング

長期間使用するとディスクやレンズの表面にホコリが付着し、それが原因で正常に読み書きできなくなることがあります。これを防止するために指定のクリーナで定期的にディスクとレンズを清掃してください。クリーニングの周期は使用環境によりますが、1～4ヶ月に1回を目安にしてください。クリーニングの方法についてはクリーナに付属の説明書をお読みください。

ディスククリーナ：（松下電器製）LF-K200DCJ1

レンズクリーナ：（松下電器製）LF-K123LCJ1

#### 注意

上記の指定クリーナ以外のクリーナを使用しないでください。指定クリーナ以外のものを使うと故障の原因となることがあります。

### 本体、リモコンのクリーニング

安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

トップカバーやパネル面が汚れた場合は、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いたあと、固く絞った布で水拭きしてください。化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

ゴムやビニール製品を長時間触れさせると、キャビネットを傷めることがありますので避けてください。

## こんなときには

下記のような症状が発生したときは、修理をご依頼になる前にもう一度ご確認ください。下記の処置をしても直らない場合は当社のサービス部門にご相談ください。

#### 【電源が入らない】

電源コードの接続を確認してください。（コンセントから抜けていないか、コンセントに正しく接続されているかなど）

#### 【電源は入るが画像が何も出ない】

本体リアパネルのコネクタが抜けていないか、使用しているケーブルが断線していないかを確認してください。

設定メニューの「ニューリョクセンタク」で、信号を入力したコネクタが選択されているかを確認してください。

#### 【操作できない】

リモコンケーブルのコネクタが正しく接続されているかを確認してください。

#### 【録画できない】

ディスクのプロテクトノッチが書き込み禁止になっていないかを確認してください。映像信号が入力されているかを確認してください。

“\*”または“?”をIDとして入力していませんか？

これらの文字はIDには使えません。

#### 【画像のコントラストが明る過ぎる、または暗過ぎる】

メニュー『2：ビデオ・オーディオ』の終端設定が正しいかを確認してください。

#### 【ドライブ動作表示ランプが点滅した】

[ピピピッ、ピピピッ]と点滅した場合：ディスクの管理情報が読み込めません。この場合は録画済みの画像を再生することはできますが、あらたに録画することはできません。また、このディスクは再フォーマットもできません。

[ピピッ、ピピッ]と点滅した場合：ディスク、レンズが汚れています。クリーニングしてください。

[ピッ、ピッ]と点滅した場合：ディスクドライブの内部温度が異常に高くなりました。いったん電源を切り、しばらくしてから電源を入れ直してください。

## エラーメッセージが出たら

リモコンまたはモニターにつきのようなエラーメッセージが表示されることがあります。これらのメッセージは、何か別の操作をしようとしてリモコンのボタンを押すと消えます。

### UNFORMAT DISC

本機でフォーマットしていないディスクの場合に表示されます。

**処置**：フォーマットしてください。

### ILLEGAL DISC

本機で使えないディスクの場合に表示されます。

**処置**：ディスクを取り出し、容量とタイプを確認してください。

### DISC FULL

録画中にディスクの空き容量がなくなったとき、またはディスクの空き容量がないときに検査を開始しようとする则表示されます。

**処置**：ディスクを交換してください。

### PROTECTED DISC

書き込み禁止になっているディスクで検査を開始しようとする则表示されます。

**処置**：録画してよいディスクに交換するか、書き込み禁止のノッチを「書き込み許可」の方に切り替えてください。

### DATA FAIL DISC

検査中に電源が切れた、などのために画像ファイルが不完全なものになった場合は、電源再投入時に自動的に修復されます。それにもかかわらず修復できなかったときにこのメッセージが表示されます。その場合は一部の画像が再生できなかったり、再生時に画像のトータル時間が表示されなかったりします。

**処置**：そのディスクに録画済みの画像を消してよければ再フォーマットしてください。

### NO VIDEO

映像信号がないときに録画しようとする则表示されます。

**処置**：映像信号が入力されているか確認してください。

### NO SYNC

同期信号がないとき、あってもレベルが小さいときに録画しようとする则表示されます。

**処置**：映像入力信号を調べてください。

### LAN ERROR 1

画像転送時にネットワークに障害があった場合に表示されます。このメッセージはしばらくすると消えます。自動転送で未送信となったファイルは、電源再投入時に自動的に転送されます。

**処置**：LANコネクタの接続を確認してください。

### LAN ERROR 2

転送するデータに問題がある場合に表示されます。このメッセージはしばらくすると消えます。

**処置**：画像ファイルが壊れている可能性があります。録画し直してもひんぱんに表示されるようでしたら当社にご連絡ください。

ディスクのプロテクトノッチが「書き込み禁止」のまま画像転送しようとする则表示されます。このメッセージはしばらくすると消えます。

**処置**：プロテクトノッチを「書き込み許可」の方に切り替えてください。

### LAN ERROR 3

NTPサーバーとの間で通信エラーが発生した場合に表示されます。このメッセージはしばらくすると消えます。

**処置**：NTPサーバーが起動しているか確認してください。

### MAX FILE SIZE

録画中の画像のファイルサイズが4 GBになると表示されます。

**処置**：スタンバイ状態になりますので、[検査終了]ボタンを押して検査をいったん終了してください。残った容量の分は引き続き録画できます。

### NO DATA

指定した検索条件にマッチする画像がないときに表示されます。このメッセージはしばらくすると消えます。

**処置**：検索条件を変えて検索し直してください。

処置しても症状が改善しなかったり通常の使用状態とは異なる動作が生じた場合は、当社サービス部門へご連絡ください。

## 仕様

映像入力信号	映像信号	NTSC
	コンポジット :	1.0 Vpp 75 終端 VBS/VS (自動切替)
	S-ビデオ (Y) :	1.0 Vpp 75 終端
	(C) :	0.286 Vpp 75 終端 (カラーバースト)
	RGB R, G, B :	0.7 Vpp 75 終端
	C-SYNC :	4.0 Vpp 75 終端
映像出力信号	映像信号	NTSC
	コンポジット :	1.0 Vpp 75 終端 VBS/VS (自動切替)
	S-ビデオ (Y) :	1.0 Vpp 75 終端
	(C) :	0.286 Vpp 75 終端 (カラーバースト)
	RGB R, G, B :	0.7 Vpp 75 終端
	C-SYNC :	4.0 Vpp 75 終端
映像データ処理	画像圧縮方式	MPEG-2
	標本化周波数	13.5 MHz
	量子化ビット数	8ビット
	画質	EP / LP / SP / HQから選択
音声入力信号	入力数	2チャンネル
	マイク入力	- 50 dBV、10 k 以上
	ライン入力	- 10 dBV、10 k 以上
音声出力信号	出力数	2チャンネル
	信号レベル	- 10 dBV
	出力インピーダンス	公称300
音声データ処理	音声符号化方式	16 bit MPEG-1 Layer 2
	標本化周波数	48 kHz
記録媒体	4.7GB DVD-RAM TYPE2、または 9.4GB DVD-RAM TYPE4	
最大録画時間	約300分 (画質: EP) 約180分 (画質: LP) 約120分 (画質: SP) 約60分 (画質: HQ) (4.7GB DVD-RAMの場合。9.4GBでは片面)	
インターフェース	通信方式	10Base-T/100Base-TX (自動判別)
	通信内容	画像転送
内蔵時計精度	月差60秒以内 (周囲温度25、通電時)	
電源	AC 100 V, 50/60 Hz 共用	
消費電流	0.43 A 以下	
動作温度・湿度	5 ~ 35、20 ~ 80%RH (非結露。35 の場合は最大65%)	
保存温度	- 20 ~ 60 (非結露)	
外形寸法	本体: 212W x 88H x 324D mm (突起物を除く)	
	リモコン: 96W x 30H x 205D mm (ケーブル、突起物を除く)	
質量	約4 kg (リモコン、DVD-RAMを除く)	
安全規格	電気用品安全法	
	JIS T0601-1およびJIS T0601-1-2に適合 JIS T0601-1電撃に対する保護の形式「クラス I 機器」	



## 最大録画時間

画質	録画時間	ピクセル数
EP	約300分	352 × 240
LP	約180分	352 × 480
SP	約120分	720 × 480
HQ	約60分	720 × 480

(4.7GB DVD-RAMの場合。9.4GBでは片面)

画像ファイルの最大サイズは4 GBですので、連続で1回に録画できる時間は上の表の値より短くなります。

## 付属品

リモコン (VS-700)	1コ
4.7GB DVD-RAM	1枚
S-VIDEOケーブル	2本
BNCケーブル	2本
RGBケーブル	2本
電源コード	1本
排出ピン	1本
ユーロードシステムズ「VideoStudio」	1式
VIEWFILE Liteインストールディスク	1枚
VIEWFILE Lite 取扱説明書	1冊
取扱説明書 (本書)	1冊

## 保証とアフターサービス

### ハードウェア保証規定

保証期間はご購入日から1年間です。

取扱説明書、本体貼付ラベルなどに従った正常な使用状態で、保証期間内に故障が発生した場合には、当社サービス部門が無料修理いたします。

保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は本製品の取扱店、または当社サービス部門にご依頼ください。なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行なった場合には、出張に要する実費を申し受けません。

当社製以外の装置または部品、機構、付加物、改造を事前に本製品から取り外してください。

つぎの場合には保証期間内でも有料修理となります。

- 1)ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
- 2)ご購入後の輸送、移動、落下などによる故障および損傷
- 3)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
- 4)接続している他の機器に起因する故障および損傷
- 5)異常摩耗、異常損傷を除き、自然消耗とみなされた消耗部品による故障および損傷
- 6)特殊業務または特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
- 7)点検のためのメンテナンス

上記保証は、日本国内においてのみ有効です。

上記は、当社の保証の全てを規定したものであり、法律上の瑕疵担保責任を含む全ての明示または黙示の保証責任に代わるものです。当社の保証責任は、本製品の修理または交換に限られます。当社は、いかなる場合にも、お客様の逸失利益及び第三者からお客様に対してなされた賠償請求に基づく損害については責任を負いかねます。

保証期間経過後の修理は

本製品の取扱店、または当社サービス部門にお問い合わせください。

### ソフトウェア保証規定

当社は、ご購入日から90日間、本ソフトウェアが、取扱説明書に記載の環境を満たすコンピュータ上で正しく実行された場合、取扱説明書に記載の機能を履行することを保証します。ただし、当社は、本ソフトウェアの操作が中断しないことや誤りのないことを保証するものではありません。本ソフトウェアが保証期間中に所定の機能を履行しない場合、お客様は、ご購入店を通じて修正を要求することができます。万一修正不能な場合は、返金手続きをとらせていただきます。

派生的損害の免責：

当社は、本ソフトウェアの使用や使用不能から生じたいかなる損害（事業上の損失、営業の中断、営業上の情報の損失、その他の金銭上の損害など）についても責任を負いません。たとえ、その損害の可能性が当社に事前に知らされていたとしても同様です。

上記保証は、日本国内においてのみ有効です。

### 修理を依頼されるときは

異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグを持ってコンセントから抜いて、本製品の取扱店、または当社サービス部門にご連絡ください。

保証期間中は左記保証規定に従って修理させていただきます。保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

なお、本装置の故障または不具合により発生した付随的損害（録画内容などの補償）については、当社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

### 廃棄するときは

本製品ならびに付属品、消耗品等を廃棄する際は、それぞれの自治体の規制に従って廃棄してください。

## 保証書

型名	DV-700
シリアル	No.
保証期間	お買上げから1年
お買上げ日	年 月 日
貴社名	

本保証書は、この取扱説明書に記載の保証規定に基づき無料修理を行うことをお約束するものです。お買上げ日から保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、本製品の取扱店、または当社サービス部門に修理をご依頼ください。

取扱店

## ユーザー登録のおすすめ

登録いただいたお客様には本製品のサポートについての情報や新製品などの情報をお知らせいたします。登録いただくにはつぎの3つの方法があります。

### オンライン登録

下記ウェブサイトアクセスしていただき、登録してください。(URL : <http://www.teac.co.jp/ipd/>)

### ファックスによる登録

上の「保証書」と右の「ユーザー登録記入欄」に必要事項を記入いただき、このページをコピーしてファックスしてください。(FAX : 0422-52-1390)

### 郵送による登録

上の「保証書」と右の「ユーザー登録記入欄」に必要事項を記入いただき、このページをコピーして郵送してください。

宛先：〒180-8550 東京都武蔵野市中町3-7-3  
ティアック株式会社  
情報通信ビジネスユニット営業グループ

## ユーザー登録記入欄

ご所属	
担当者名	
ご住所	〒
TEL	
FAX	
E-mail	
	E-mailによる情報提供 希望しない
ご意見	

## ティアック株式会社

製品に関するお問い合わせは・・・	情報通信ビジネスユニット	〒180-8550 東京都武蔵野市中町3-7-3 TEL 0422-52-5010 FAX 0422-52-1390
修理に関するお問い合わせは・・・	MTS株式会社 情報サービス部	〒190-1232 東京都西多摩郡瑞穂町長岡2-2-7 TEL 042-556-2335 FAX 042-556-2521
TEAC情報機器関連ホームページ E-mail	<a href="http://www.teac.co.jp/ipd/">http://www.teac.co.jp/ipd/</a> <a href="mailto:ipd-mv@ho.teac.co.jp">ipd-mv@ho.teac.co.jp</a>	